

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄								備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガッコウホウジントウヨウエイワジョウガクイン 学校法人 東洋英和女学院								
フリガナ大学の名称	トウヨウエイワジョウガクインダイガク 東洋英和女学院大学								
大学本部の位置	神奈川県横浜市緑区三保町32								
大学の目的	本学は、教育基本法及び学校教育法に準拠し、教育理念である「敬神奉仕」に基づきキリスト教教育による人間形成を行うとともに、専門教育を重視して、しっかりした専門に根ざした幅広い教養を身に付けさせ、国際化時代・IT社会に適応できる女性を養成することを目的とする。								
新設学部等の目的	本学人間科学部人間科学科、保育子ども学科、国際社会学部国際社会学科、及び国際コミュニケーション学科の近年の志願者数が減少傾向にあることに鑑み、入学定員及び収容定員を減らすことにより、受験生の進学動向の変化に対応するとともに、入学者の学力面における質の確保と、本学の教育方針である少人数教育を維持する。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	人間科学部 人間科学科	4	110 (140)	-	440 (560)	学士(人間科学)	・文学関係、社会学・社会福祉学関係	令和7年4月 第1年次	神奈川県横浜市緑区三保町32
	保育子ども学科	4	70 (100)	-	280 (400)	学士(人間科学)	・教育学・保育学関係、社会学・社会福祉学関係	令和7年4月 第1年次	
	国際社会学部 国際社会学科	4	60 (120)	-	240 (480)	学士(社会科学) 学士(社会科学)	・経済学関係、社会学・社会福祉学関係	令和7年4月 第1年次	
	国際コミュニケーション学科	4	60 (120)	-	240 (480)	学士(社会科学)	・文学関係	令和7年4月 第1年次	
計									
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計	単位			
		科目	科目	科目	科目	単位			
新	学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教員(助手を除く)
			教授	准教授	講師	助教	計		
	人間科学部 人間科学科		13人 (13)	6人 (6)	5人 (5)	0人 (0)	24人 (24)	0人 (0)	43人 (43)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの		13 (13)	6 (6)	5 (5)	0 (0)	24 (24)		大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の二の数 4人
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
	小計(a~b)		13 (13)	6 (6)	5 (5)	0 (0)	24 (24)		
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)			
計(a~d)		13 (13)	6 (6)	5 (5)	0 (0)	24 (24)			

設	保育子ども学科	4 (4)	5 (5)	6 (6)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	33 (33)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 4人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	5 (5)	6 (6)	0 (0)	15 (15)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)			
	小計（a～b）	4 (4)	5 (5)	6 (6)	0 (0)	15 (15)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)			
	計（a～d）	4 (4)	5 (5)	6 (6)	0 (0)	15 (15)			
	国際社会学部 国際社会学科	8 (8)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	43 (43)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 7人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	13 (13)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)			
	小計（a～b）	8 (8)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	13 (13)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)			
	計（a～d）	9 (9)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	13 (13)			
	国際コミュニケーション学科	7 (7)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	29 (29)	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 4人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	13 (13)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)			
	小計（a～b）	7 (7)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	13 (13)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)			
	計（a～d）	7 (7)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	13 (13)			
分	計	32 (32)	17 (17)	16 (16)	0 (0)	65 (65)	0 (0)	148 (148)	

既	該当なし			-	-	-	-	-	-	-	-	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ○○人
	a.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの			-	-	-	-	-	-	-	
	b.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）			-	-	-	-	-	-	-	
	小計（a～b）			-	-	-	-	-	-	-	-	
	c.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）			-	-	-	-	-	-	-	
	d.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）			-	-	-	-	-	-	-	
計（a～d）			-	-	-	-	-	-	-	-		
設	-			-	-	-	-	-	-	-	-	大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 ○○人
	a.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの			-	-	-	-	-	-	-	
	b.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）			-	-	-	-	-	-	-	
	小計（a～b）			-	-	-	-	-	-	-	-	
	c.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）			-	-	-	-	-	-	-	
	d.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）			-	-	-	-	-	-	-	
計（a～d）			-	-	-	-	-	-	-	-		
分	計			-	-	-	-	-	-	-	-	
	-			-	-	-	-	-	-	-	-	
合計			-	-	-	-	-	-	-	-	-	
職 種			専 属			そ の 他			計			
事 務 員			52人 (52)			34人 (34)			86人 (86)			大学全体
技 術 員			0 (0)			0 (0)			0 (0)			
図 書 館 員			4 (4)			0 (0)			0 (0)			
そ の 他 の 員			5 (5)			18 (18)			23 (23)			
指 導 補 助 者			0 (0)			0 (0)			0 (0)			
計			61 (61)			52 (52)			113 (113)			
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の学校等の専用		計			
	校 舎 敷 地		32,011㎡		0㎡		0㎡		32,011㎡			大学全体
	そ の 他		152,178㎡		0㎡		0㎡		152,178㎡			
	合 計		169,671㎡		0㎡		0㎡		169,671㎡			
校 舎			専 用		共 用		共用する他の学校等の専用		計			大学全体
			32,011㎡ (32,011㎡)		0㎡ (0㎡)		0㎡ (0㎡)		32,011㎡ (32,011㎡)			

教室・教員研究室		教室		室		教員研究室		室	
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕	電子図書 〔うち外国書〕	冊	種	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点
		()	()	()	()	()	()	()	()
	計	()	()	()	()	()	()	()	()
スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設			
		m ²		m ²		m ²			
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		教員1人当り研究費等		120千円	120千円	120千円	120千円		
		共同研究費等		0千円	0千円	0千円	0千円		
		図書購入費		14,000千円	14,000千円	14,000千円	14,000千円		
	設備購入費		30,000千円	30,000千円	30,000千円	30,000千円			
	学生1人当り納付金			第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
			1,315千円	1,115千円	1,115千円	1,165千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料 雑収入等							

大学等の名称	東洋英和女学院大学									
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
既設大学等の状況	人間科学部 人間科学科	年	人	年次	人	学士(人間科学)	0.66	平成元	神奈川県横浜市緑区三保町32	
	保育子ども学科	4	140	- 人	560	学士(人間科学)	0.71			
		4	100	-	400		0.60			
	国際社会学部 国際社会学科	4	120	-	480	学士(社会科学)	0.52	平成元		
	国際コミュニケーション学科	4	120	-	480	学士(社会科学)	0.48			
							0.52	平成元		
	人間科学研究科 人間科学専攻修士課程	2	30	-	60	修士(人間科学)	0.94	平成4		東京都港区六本木5-14-40
	人間科学専攻博士後期課程	3	3	-	9	博士(人間科学)	0.93			
							1.00	平成4		
	国際協力研究科 国際協力専攻修士課程	2	10	-	20	修士(社会科学)	0.45	平成4		
						0.45				
附属施設の概要	施設名：東洋英和女学院大学付属かえで幼稚園 目的：キリスト教精神に基づく子どもの保育 設置場所：神奈川県横浜市青葉区美しが丘3丁目46番8号 設置年月：昭和48年4月（※東洋英和女学院短期大学の付属幼稚園として設立） 設置面積：土地 2,312㎡，建物 1,098㎡									

(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあつては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあつては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあつては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

東洋英和女学院大学 収容定員変更に関わる組織の移行表

令和6年度

入学 編入学 収容
定員 定員 定員

令和7年度

入学 編入学 収容
定員 定員 定員 変更の事由

東洋英和女学院大学		
人間科学部		
人間科学科	140	— 560
保育子ども学科	100	— 400
国際社会学部		
国際社会学科	120	— 480
国際コミュニケーション学科	120	— 480
<hr/>		
計	480	— 1920
東洋英和女学院大学大学院		
人間科学研究科		
人間科学専攻修士課程	30	— 60
博士後期課程	3	— 9
国際協力研究科		
国際協力専攻修士課程	10	— 20
<hr/>		
計	43	— 89



東洋英和女学院大学		
人間科学部		
人間科学科	<u>110</u>	— <u>440</u> 定員変更 (△120)
保育子ども学科	<u>70</u>	— <u>280</u> 定員変更 (△120)
国際社会学部		
国際社会学科	<u>60</u>	— <u>240</u> 定員変更 (△240)
国際コミュニケーション学科	<u>60</u>	— <u>240</u> 定員変更 (△240)
<hr/>		
計	<u>300</u>	— <u>1200</u>
東洋英和女学院大学大学院		
人間科学研究科		
人間科学専攻修士課程	30	— 60
博士後期課程	3	— 9
国際協力研究科		
国際協力専攻修士課程	10	— 20
<hr/>		
計	43	— 89

○東洋英和女学院大学学則

昭和63年12月22日

認可

第1章 総則

(目的)

第1条 本学は、教育基本法(昭和22年法律第25号)及び学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき、自由にして敬虔なる学風の下に深く専門の学芸を教授研究し、職業及び社会生活に必要な教育を施し、キリスト教精神による人間形成を重んじ、敬神奉仕と国際性に富む女性を育成することを目的とする。

(名称)

第2条 本学は、東洋英和女学院大学という。

(位置)

第3条 本学は、神奈川県横浜市緑区三保町32番地に置く。

(教育の特色)

第4条 本学は、その教育の特色として、キリスト教関係科目を設けるとともに、キリスト教行事を行う。

(学部等の目的・教育目標)

第5条 本学は、第1条の目的を達成する為、学部、学科ごとに、人材養成上の目的・教育目標を以下に定める。

人間科学部人間科学科

人間科学科は、心理学・社会学・教育学・宗教学を基礎にして、複雑でさまざまな側面を持つ人間のこころや行動について、総合的に理解することを目指す。人間についてのさまざまな学びにより、自己と他者への深い理解と洞察を身につけることで、社会的寛容性や共感性を高め、家庭・学校・地域・社会において積極的に貢献できる主体的な女性の育成をめざす。

上記の目的を達成するために、本学科は、こころとからだを探究し心理学的・健康科学的視点による理解と援助の方法を学ぶ心理科学専攻、教育学的視点、社会的な視点、及び文化的な視点から人間を探究する教育・人間学専攻の2専攻を置く。

人間科学部保育子ども学科

保育子ども学科は、子どものためのケアと教育についての専門性を身につけた保育者養成を目指す。キリスト教学校の伝統と理念、幅広い教養教育による総合的な人間力を身に

つけ、保育の理念と実践に関する理論を学び、幼稚園教諭1種免許、保育士の資格にふさわしい基礎技能や教育・保育方法と援助技術を確実に修得する。さらに、児童福祉に関する学びを通じて、子どもと家族を支援する家庭・地域・コミュニティ再形成の視点を培っていくことで、21世紀にふさわしい、幅広い視野と教養、豊かな専門性をもった幼児教育者・保育者の養成を目指す。

国際社会学部国際社会学科

国際社会学科は、不透明で変転極まりない現代の国際社会が抱える諸問題の本質と構造を理解し、その問題解決に向けた内外の課題や理念に主体的に取り組み、社会貢献を志す女性の育成を目的としている。

このような広い視野と国際的な教養を備えた女性を育成するために、学問体系としては主として社会科学に依拠し、国際政治学・国際経済学・国際社会学といった学問領域を中心に学ぶカリキュラムを置いている。同時に、グローバル化が進む中でメディア媒体による報道や情報網の重要性が認識されていることを踏まえ、メディアの現状と問題点を理解して実践的に取り組むための関連科目を新設している。

国際社会学部国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科は、現代の国際社会の中で具体的な問題を深く認識し、その問題解決のために自ら実践的かつ積極的に行動し、社会貢献に携わる女性の育成を目的としている。

このような広い視野と国際的な教養を備えつつ国際領域で活躍できる人材を育成するため、学問体系としては主として社会科学に依拠しつつ、特定の国際地域研究の学問領域と海外に日本を紹介できるための日本文化研究の学問領域を中心にカリキュラムを置いている。とくに国際語としての英語を専門知識に基づいてコミュニケーションできる実践的能力を養い、また留学体験を通じて国際社会を理解できるための学科目を配置している。

(自己点検及び評価等)

第6条 本学は、第1条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に基づいて教育研究活動等の改善及び充実に努める。

2 前項の点検及び評価を行うにあたっての項目の設定、実施体制等については、別に定める。

第2章 組織

(学部、学科及び学生定員)

第7条 本学に次の学部及び学科を置き、その学生定員は、次のとおりとする。

人間科学部

人間科学科

入学定員 140名 収容定員 560名
保育子ども学科

入学定員 100名 収容定員 400名
国際社会学部
国際社会学科

入学定員 120名 収容定員 480名
国際コミュニケーション学科
入学定員 120名 収容定員 480名

(大学院)

第8条 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する必要な事項は、別に定める。

(付属図書館)

第9条 本学に図書館を置く。

2 図書館に関する必要な事項は、別に定める。

(生涯学習センター)

第10条 本学に生涯学習センターを置く。

2 生涯学習センターに関する必要な事項は、別に定める。

(付属かえで幼稚園)

第11条 本学に付属幼稚園を置く。

2 これを、かえで幼稚園と称し、必要な事項は、別に定める。

第3章 教職員の組織

(教職員組織)

第12条 本学に学長、教授、准教授、講師、実習指導講師、助教、助手及び事務職員を置く。

2 前項のほか、副学長、学部長その他必要な職員を置く。

3 教職員の職務は、学校教育法の定めるところによる。

第4章 教授会、大学評議会及び大学運営委員会

(教授会)

第13条 本学の学部に教授会を置く。

2 教授会は、当該学部所属の専任教授をもって構成する。

- 3 前項の規定にかかわらず、教授会が必要と認めるときは、准教授、講師、実習指導講師及び助教、その他の職員を加える。
- 4 教授会は、学部長が招集し、議長となる。
- 5 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり答申を行うものとする。
 - (1) 学部長の選出に関する事項
 - (2) 大学各種委員、給与委員及び就業規則委員の選出に関する事項
 - (3) 専任教員の人事及び非常勤教員の適格基準に関する事項
 - (4) 教育及び研究に関する事項
 - (5) 学則その他学内諸規程に関する事項
 - (6) 学生の単位認定に関する事項
 - (7) 学生の入学、退学、転学、休学、留学、復学、除籍、卒業及び賞罰に関する事項
 - (8) 学部の予算に関する事項
 - (9) 附属機関及び附属施設の運営基準に関する事項
 - (10) その他学事運営に関する事項
 - (11) 学位の授与
- 6 本条に定めるもののほか、教授会に関する必要な事項は、別に定める。

(大学評議会)

第14条 本学に大学評議会を置く。

- 2 大学評議会は、学長、学部長及び各学部から選出された2名の教授をもって構成し、学長が招集し、その議長となる。
- 3 前項の規定にかかわらず、学長が委嘱した者を加える。
- 4 大学評議会は、次の事項を審議する。
 - (1) 学則その他学内諸規程の制定及び改廃に関する事項
 - (2) 研究教育計画に関する重要な事項
 - (3) 教員人事の基準に関する事項
 - (4) 学生の厚生補導及びその身分に関する事項
 - (5) 大学の予算に関する事項
 - (6) 附属機関及び附属施設に関する事項
 - (7) 連絡調整に関する事項
 - (8) その他大学の運営に関する重要な共通事項
- 5 本条に定めるもののほか、大学評議会に関する必要な事項は、別に定める。

(大学運営委員会)

第15条 本学に学長の諮問機関として、大学運営委員会を置く。

- 2 大学運営委員会には、学長、学部長及び各学部の教授から学長が委嘱した者によって

構成し、学長が招集し、その議長となる。

- 3 大学運営委員会は、学長の諮問に基づき大学運営の重要な問題について検討を行い、意見を提出するとともに必要に応じて検討結果を報告する。
- 4 本条に定めるもののほか大学運営委員会に関する必要な事項は、別に定める。

第5章 学年、学期及び休業日

(学年)

第16条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第17条 学年を分けて、次の2学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

- 2 必要がある場合、学長は、後期の授業開始日を前期途中に定めることができる。

(休業日)

第18条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

(3) 学院創立記念日 11月6日

(4) 夏季休業日 8月1日から9月20日まで

(5) 冬季休業日 12月21日から1月7日まで

(6) 春季休業日 3月21日から3月31日まで

- 2 必要がある場合、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。
- 3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。
- 4 第1項に定める休業日中であっても、別表3に定める資格課程の実習を実施することができる。
- 5 第1項に定める休業日であっても、必要がある場合、学長は、授業日とすることができる。

第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限及び在学年限)

第19条 本学の修業年限は、4年とする。ただし、8年を超えて在学することはできない。また、第25条第1項の規定により入学した学生は、同条第2項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第7章 入学

(入学の時期)

第20条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、帰国子女の入学及び第25条に定める再入学、転入学については、学期の始めとすることができる。

(入学の資格)

第21条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する女子とする。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者)
- (7) 本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で18歳に達した者

(入学の出願)

第22条 入学志願者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて、願い出なければならない。なお出願の時期、方法及び提出すべき書類等については、別に定める。

(入学者の選考)

第23条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第24条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに宣誓書、身元保証書その他所定の書類を提出するとともに、所定の入学料を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(学士入学、編入学、転入学及び再入学)

第25条 次の各号の一に該当する女子で、本学への入学を志望する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、相当年次に入学を許可することができる。

- (1) 本学の他の学部及び同一学部の他の学科を卒業した者若しくは修業年限4年の他の

大学を卒業した者

- (2) 短期大学、高等専門学校又は国立養護教諭養成所を卒業した者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第92条の3に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者
- (4) 本学を中途退学した者が、退学した日の翌日から2年以内に同一学部に再入学を希望する者

2 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学部長が定める。

第8章 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第26条 授業科目を分けて、全学共通科目、学部共通科目、学科基礎科目、学科専門科目及び自由選択科目とする。

(単位の計算方法)

第27条 授業科目の単位の計算方法は、1単位の履修時間を教室内及び教室外をあわせて45時間とし、次の基準によるものとする。

- (1) 講義については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実験・実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める授業をもって1単位とする。

(授業日数)

第28条 1年間の授業日数は、定期試験等の日数を含め35週を下らないものとする。

(単位の授与)

第29条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

2 前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

(他大学等における授業科目の履修等)

第30条 教育上有益と認めるときは、他大学若しくは短期大学との協議に基づき学生に当該大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。

2 本学学生が入学前又は入学後に行った各種技能検定試験に合格した場合、教育上有益

と認めるときは、単位を認定することができる。

- 3 第1項及び前条第2項の規定により履修した授業科目において修得した単位並びに前項の規定により認定された単位については、教授会の議に基づき60単位を限度として卒業の要件となる単位として認めることができる。

(履修科目の評価)

第31条 授業科目の試験の成績は、秀・優・良・可・不可の5段階をもって表し、秀・優・良・可を合格とする。

(その他)

第32条 この章に定めるもののほか、授業科目の種類、単位数及び履修方法等については、別表1、2、3及び4に定めるところによる。

(卒業の要件)

第33条 本学を卒業するためには、学生は、4年以上在学し、別表1及び2に定める授業科目について別表4に掲げるとおり124単位以上を修得しなければならない。

第9章 休学、転学、留学及び退学

(休学)

第34条 疾病その他特別の理由により3か月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。

- 2 疾病のため修学することが適当でない認められる者については、学長は、休学を命ずることができる。

(休学期間)

第35条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

- 2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。
- 3 休学期間は、第19条の在学期間には算入しない。

(復学)

第36条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第37条 他の大学等への入学又は転入学を志望する者は、学長の許可を受けなければなら

ない。

(転部)

第38条 転部を願い出た者については、両学部教授会の議を経て、選考のうえ学長が許可することがある。

(転科)

第39条 学部内にあつて転科を願い出た者については、当該学部教授会の議を経て、これを許可することがある。

(転専攻)

第40条 学科内にあつて転専攻を願い出た者については、当該学部教授会の議を経て、これを許可することがある。

(留学)

第41条 外国の大学等で学修することを志望する者は、学長の許可を得て留学することができる。

- 2 前項の許可を得て留学した期間は、第19条に定める在学期間を含めることができる。
- 3 第30条の規定は、外国の大学へ留学する場合に準用する。

(退学)

第42条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第43条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

- (1) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納入しない者
- (2) 第19条に定める在学期間を超えた者
- (3) 第35条第2項に定める休学期間を超えてなお修学できない者
- (4) 長期間にわたり行方不明の者

第10章 卒業及び学士号等

(卒業)

第44条 本学に4年(第25条第1項の規定により入学した者については、同条第2項により定められた在学すべき年数)以上在学し、学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

- 2 学長は、卒業を認定した者に対して、学士の学位を授与する。

3 学位授与に関する規程は、別に定める。

(学士称号)

第45条 卒業した者は、次の区分に従い、学士と称することができる。

人間科学部

人間科学科 学士(人間科学)

保育子ども学科 学士(人間科学)

国際社会学部

国際社会学科 学士(社会科学)

国際コミュニケーション学科 学士(社会科学)

(資格)

第46条 第44条の規定により卒業が認められた者で、別表4に定める所定の授業科目及び単位数を修得した者にあつては、下表の資格等を取得することができる。

資格等の種類	適用学科・専攻	定員	根拠規則等
保育士資格	保育子ども学科	100	児童福祉法施行規則
幼稚園教諭1種免許	保育子ども学科	100	教育職員免許法
中学校教諭1種免許社会	人間科学科 国際社会学科	—	教育職員免許法施行規則
中学校教諭1種免許英語	国際コミュニケーション 学科	—	
高等学校教諭1種免許公民	人間科学科 国際社会学科	—	
高等学校教諭1種免許地理 歴史	国際社会学科	—	
高等学校教諭1種免許英語	国際コミュニケーション 学科	—	
学芸員資格	人間科学部 国際社会学部	—	博物館法
日本語教育	人間科学部 国際社会学部	—	
司書資格	人間科学部 国際社会学部	—	図書館法 図書館法施行規則

2 保育士資格課程履修に関する必要な事項は、別に定める。

第11章 賞罰

(表彰)

第47条 学生として表彰に価する行為があった者は、教授会及び大学評議会の議を経て、学長が表彰することができる。

(懲戒)

第48条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会及び大学評議会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがない者

(2) 正当な理由がなくて出席常でない者

(3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第12章 研究生、科目等履修生、特別聴講生及び外国人留学生

(研究生)

第49条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する女子があるときは、学部の教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ研究生として入学を許可することができる。

2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

3 研究期間は、1年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。

(科目等履修生)

第50条 本学において特定の授業科目の履修を志願する女子があるときは、学部の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ科目等履修生として履修を許可することができる。

2 科目等履修生が履修した授業科目の試験に合格した場合は、所定の単位を与えることができる。

(特別聴講生)

第51条 他の大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する女子があるときは、当該他大学との協議に基づき、特別聴講生として聴講を許可することができる。

(外国人留学生)

第52条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志望す

る女子があるときは、選考のうえ外国人留学生として入学を許可することがある。

第53条 研究生、科目等履修生、特別聴講生及び外国人留学生に関する規則は、別に定める。

第13章 入学検定料、入学金及び授業料等

(授業料等の金額)

第54条 入学検定料、入学金及び授業料等の納付金については、次のとおりとする。

(1) 入学検定料

入試方法	内部受験者	外部受験者
学校推薦型選抜	—	30,000円
学校推薦型選抜(院内)	17,000円	—
総合型選抜	—	30,000円
スカラシップ入学試験	—	30,000円
スカラシップ入学試験(一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜併願)	—	40,000円
一般選抜	—	1学科単願 30,000円
	—	2~4学科併願 40,000円
大学入学共通テスト利用選抜	—	1学科単願 13,000円
	—	2学科併願 19,000円
	—	3学科併願 25,000円
	—	4学科併願 31,000円
一般編入学・社会人編入学試験	—	30,000円
指定短期大学等推薦編入学試験	—	30,000円
社会人入学試験	—	30,000円
外国人留学生入学試験(含編入)	—	30,000円

(2) 入学金 入学時 200,000円

(3) 授業料 年額 695,000円

(4) 教育充実費 年額 150,000円

(5) 施設設備資金 年額 250,000円

2 前項のほか特定の資格取得のための科目等を履修する者は、別に定める履修費等を納入しなければならない。

(授業料等の納入)

第55条 授業料等の納付金は、年額の2分の1ずつ次の2期に分けて納入しなければならない。

区分	納期
前期(4月から9月まで)	4月中の別に定める期日まで
後期(10月から翌年3月まで)	10月中の別に定める期日まで

(復学等の場合の授業料等)

第56条 前期又は後期中途において、復学又は入学した者は、当該期の授業料等の納付金を、復学又は入学した月に納入しなければならない。

(学年の途中で卒業する場合の授業料等)

第57条 学年の途中で卒業する見込の者は、卒業する見込みの期までの授業料等の納付金を納付するものとする。

(退学、除籍及び停学の場合の授業料等)

第58条 前期又は後期中途で退学した者の当該期分の授業料等の納付金は、徴収する。
なお除籍された者の当該期分の授業料等の納付金は、徴収しない。

2 停学期間中の授業料等の納付金は、徴収する。

(休学の場合の授業料等)

第59条 休学期間中は、在籍料を徴収する。授業料等の納付金は、これを徴収しない。

(卒業延期の場合の授業料等)

第60条 卒業延期期間中の授業料等の納付金は、徴収する。卒業延期期間中に納入すべき授業料等の納付金を減額する。

(研究生及び科目等履修生等の授業料等)

第61条 研究生、科目等履修生及び特別聴講生の入学検定料及び授業料等の納付金については、別に定める。

(スカラシップ入学生の授業料等)

第62条 スカラシップ生に関する規程は、別に定める。

(指定施設推薦入学生の授業料等)

第63条 指定施設推薦入学生に関する規程は、別に定める。

(総合型選抜〔英語4技能型〕入学生の授業料等)

第64条 総合型選抜〔英語4技能型〕入学生が本学の長期留学プログラム(協定校留学・推薦校留学・認定校留学)により留学した場合、留学期間中の授業料等の納付金は、徴収する。ただし、留学期間中の学期について納入すべき授業料等の納付金を返還する。

(納付した授業料等)

第65条 納付した入学検定料、入学金及び授業料等の納付金は、特別な事情のない限り返還しない。ただし、入学手続時納付金を完納後に入学を辞退する場合は、大学が定める提出期限までに入学辞退手続きを完了した者に限り、授業料等の納付金を返還する。

第14章 公開講座

(公開講座)

第66条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、公開講座を開設することができる。

附 則

この学則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則(平成元年3月23日改正)

この学則は、平成元年4月1日から施行する。ただし、入学金の規定については、平成元年3月31日までに入学を許可された者は、なお従前の規定による。

附 則(平成2年2月23日改正)

この学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則(平成2年5月25日改正)

- 1 この学則は、平成3年4月1日から施行する。
- 2 第3条第2項に定める入学定員は、同項の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までは、次のとおりとする。

人間科学科 入学定員 120名

社会科学科 入学定員 180名

附 則(平成2年5月25日改正)

- 1 この学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 第3条第2項に定める入学定員は、同項の規定にかかわらず、平成4年度から平成11年度までは、次のとおりとする。

人間科学科 入学定員 160名

社会科学科 入学定員 240名

附 則(平成4年5月28日改正)

この学則は、平成4年6月1日から施行する。

附 則(平成5年2月26日改正)

- 1 この学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 ただし、第19条の授業科目、第25条の授業科目の種類・単位数・履修方法等及び第26条に掲げる卒業要件は、平成4年3月31日までに入学を許可された者は、なお従前の規定による。

附 則(平成5年5月28日改正)

この学則は、平成5年6月1日から施行する。

附 則(平成6年2月25日改正)

この学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成7年2月24日改正)

- 1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。
- 2 なお、この学則は、平成6年10月1日以前の入学者にも適用する。
- 3 第4条に定める入学定員は、同条の規定にかかわらず、平成11年度までは、次のとおりとする。

人間科学部 人間科学科 入学定員 180名

社会科学部 社会科学科 入学定員 220名

- 4 人文学部 人間科学科及び社会科学科は、平成7年3月31日をもって廃止する。

附 則(平成8年3月1日改正)

この学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則(平成9年2月28日改正)

- 1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 第4条に定める入学定員は、同条の規定にかかわらず、平成11年度までは、次のとおりとする。

人間科学部 人間科学科 入学定員 230名

社会科学部 社会科学科 入学定員 345名

また収容定員も同条の規定にかかわらず、次表のとおりとする。

(単位：名)

学部	学科	収容定員		
		平成9年	平成10年	平成11年
人間科学部	人間科学科	400	460	510
	人間福祉学科	100	200	300
社会科学部	社会科学科	575	690	815

- 3 本学則の規定にかかわらず、東洋英和女学院大学短期大学部の学生が在学する間、短期大学部に関する規定は存続するものとする。

附 則(1998(平成10)年2月27日改正)

- 1 この学則は、1998(平成10)年4月1日から施行する。
- 2 ただし、別表6納付金の費目については、1998(平成10)年3月31日に在学する学生については、なお従前の規定による。

附 則(1999(平成11)年2月26日改正)

- 1 この学則は、1999(平成11)年4月1日から施行する。
- 2 ただし、別表6納付金の規定については、1999(平成11)年3月31日に在学する学生については、なお従前の規定による。

附 則(2000(平成12)年2月25日改正)

この学則は、2000(平成12)年4月1日から施行する。

附 則(2000(平成12)年5月26日改正)

- 1 この学則は、2001(平成13)年4月1日から施行する。
- 2 社会科学部社会科学科は、改正後の第4条の規定にかかわらず、2001(平成13)年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則(2000(平成12)年10月27日改正)

この学則は、2001(平成13)年4月1日から施行する。

附 則(2001(平成13)年2月23日改正)

この学則は、2001(平成13)年4月1日から施行する。

附 則(2002(平成14)年2月22日改正)

この学則は、2002(平成14)年4月1日から施行する。

附 則(2003(平成15)年2月28日改正)

この学則は、2003(平成15)年4月1日から施行する。

附 則(2004(平成16)年2月27日改正)

この学則は、2004(平成16)年4月1日から施行する。

附 則(2004(平成16)年5月28日改正)

この学則は、2005(平成17)年4月1日から施行する。

附 則(2004(平成16)年10月29日改正)

この学則は、2005(平成17)年4月1日から施行する。

附 則(2005(平成17)年2月25日改正)

この学則は、2005(平成17)年4月1日から施行する。

附 則(2006(平成18)年2月24日改正)

この学則は、2006(平成18)年4月1日から施行する。

附 則(2006(平成18)年2月24日改正)

この学則は、2007(平成19)年4月1日から施行する。

附 則(2006(平成18)年5月26日改正)

この学則は、2007(平成19)年4月1日から施行する。

附 則(2006(平成18)年9月11日改正)

この学則は、2007(平成19)年4月1日から施行する。

附 則(2007(平成19)年2月26日改正)

この学則は、2007(平成19)年4月1日から施行する。

附 則(2008(平成20)年2月29日改正)

この学則は、2008(平成20)年4月1日から施行する。

附 則(2008(平成20)年10月24日改正)

- 1 この学則は、2009(平成21)年4月1日から施行する。
- 2 この学則は、2009(平成21)年4月1日に編入学する人間科学部人間福祉学科2年次編入生及び人間科学部人間福祉学科3年次編入生にも適用する。

附 則(2009(平成21)年2月27日改正)

この学則は、2009(平成21)年4月1日から施行する。

附 則(2009(平成21)年2月27日改正)

この学則は、2010(平成22)年4月1日から施行する。

附 則(2009(平成21)年5月29日改正)

この学則は、2009(平成21)年5月29日から施行し、2009(平成21)年4月1日から適用する。

附 則(2010(平成22)年2月26日改正)

この学則は、2010(平成22)年4月1日から施行する。

附 則(2010(平成22)年7月16日改正)

この学則は、2011(平成23)年4月1日から施行する。

附 則(2010(平成22)年10月29日改正)

この学則は、2011(平成23)年4月1日から施行する。

附 則(2011(平成23)年2月25日改正)

この学則は、2011(平成23)年4月1日から施行する。

附 則(2012(平成24)年2月24日改正)

この学則は、2012(平成24)年4月1日から施行する。

附 則(2012(平成24)年5月25日改正)

この学則は、2012(平成24)年5月25日から施行し、2012(平成24)年4月1日から適用する。

附 則(2013(平成25)年2月22日改正)

この学則は、2013(平成25)年2月22日から施行し、2012(平成24)年4月1日から適用する。

附 則(2013(平成25)年5月31日改正)

この学則は、2014(平成26)年4月1日から施行する。

附 則(2014(平成26)年2月28日改正)

この学則は、2014(平成26)年4月1日から施行する。

附 則(2014(平成26)年2月28日改正)

- 1 この学則は、2014(平成26)年4月1日から施行する。
- 2 ただし、第54条(4)授業料については、2014(平成26)年3月31日に在学する学生については、なお従前の規定による。

附 則(2014(平成26)年2月28日改正)

この学則は、2015(平成27)年4月1日から施行する。

附 則(2014(平成26)年10月31日改正)

この学則は、2015(平成27)年4月1日から施行する。

附 則(2015(平成27)年2月27日改正)

この学則は、2015(平成27)年4月1日から施行する。

附 則(2016(平成28)年5月27日改正)

この学則は、2016(平成28)年5月27日から施行し、2016(平成28)年4月1日から適用する。

附 則(2016(平成28)年2月26日改正)

この学則は、2017(平成29)年4月1日から施行する。

附 則(2016(平成28)年5月27日改正)

この学則は、2017(平成29)年4月1日から施行する。

附 則(2016(平成28)年11月25日改正)

この学則は、2017(平成29)年4月1日から施行する。

附 則(2017(平成29)年2月24日改正)

この学則は、2017(平成29)年4月1日から施行する。

附 則(2017(平成29)年11月30日改正)

この学則は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則(2017(平成29)年11月30日改正)

この学則は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

附 則(2018(平成30)年2月23日改正)

この学則は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則(2018(平成30)年5月25日改正)

この学則は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

附 則(2019(平成31)年2月22日改正)

この学則は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

附 則(2020(令和2)年10月30日改正)

この学則は、2020(令和2)年10月30日から施行し、2020(令和2)年9月1日から適用する。

附 則(2020(令和2)年10月30日改正)

この学則は、2020(令和2)年10月30日から施行し、2020(令和2)年4月1日から適用する。

附 則(2020(令和2)年11月27日改正)

この学則は、2020(令和2)年11月27日から施行する。

附 則(2022(令和4)年2月25日改正)

この学則は、2022(令和4)年4月1日から施行する。

附 則(2022(令和4)年5月27日改正)

この学則は、2022(令和4)年5月27日から施行し、2022(令和4)年4月1日から適用する。

附 則(2022(令和4)年10月28日改正)

この学則は、2022(令和4)年10月28日から施行し、2022(令和4)年4月1日から適用する。

附 則(2023(令和5)年5月26日改正)

この学則は、2023(令和5)年5月26日から施行し、2023(令和5)年4月1日から適用する。

附 則(2023(令和5)年10月27日改正)

- 1 この学則は、2024(令和6)年4月1日から施行する。
- 2 第54条(3)授業料については、2025(令和7)年度入学生から適用し、2024(令和6)年度以前の入学生については、従前のおりとする。

附 則(2024(令和6)年2月22日改正)

この学則は、2024(令和6)年4月1日から施行する。

別表1 人間科学部教育課程

(1) 人間科学科心理科学専攻教育課程

科目区分	授業科目 の名称	配 当 年 次	単位数			授業形態			備 考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	
全 学 共 通 科 目	キリスト教関 連科目群	キリスト 教概論Ⅰ	1	2			○		こ の う ち か ら 2 単 位 を 選 択
		キリスト 教概論Ⅱ	2	2			○		
		キリスト 教思想史	3		2		○		
		聖書学A	3		2		○		
		聖書学B	3		2		○		
		キリスト 教と平和	3		2		○		
		キリスト 教と教育	3		2		○		
		キリスト 教と文学	3		2		○		
		キリスト 教と政治	3		2		○		
		キリスト 教と経済	3		2		○		
		東洋英和	3		2		○		

	の歴史								
アカデミック スキルズ科目 群	フレック シユマ ン・セミ ナーⅠ	1	1				○		
	フレック シユマ ン・セミ ナーⅡ	1	1				○		
	アカデ ミックス キルズⅠ	1	1				○		
	アカデ ミックス キルズⅡ	1	1				○		
	基礎情報 科学Ⅰ	1	1			○			
	基礎情報 科学Ⅱ	1	1			○			
	情報処理 演習A	2		1			○		
	情報処理 演習B	2		1			○		
	情報処理 演習C	2		1			○		
ウェルネス科 目群	健康科学 (講義・実 技)	1		2		○		○	
	女性 の ウェル ネス	1		2		○			
	スポーツ 科学A	1		1				○	
	スポーツ 科学B	1		1				○	
	スポーツ	1		1				○	

	科学C								
	スポーツ 科学D	1		1					○
	スポーツ 科学E	1		1					○
	スポーツ 科学F	1		1					○
ライフデザイン 科目群	ライフデ ザイン	1	2				○		
	ジエン ダースタ ディーズ A	2		2			○		
	ジエン ダースタ ディーズ B	2		2			○		
	女 性 と アート	2		2			○		
	女性のた めのリー ダーシッ プ	2		2			○		
	キャリア デザイン A	3		2			○		
	キャリア デザイン B	3		2			○		
	キャリア デザイン C	3		2			○		
コミュニケー ションスキル ズ科目群	Freshm an English A I	1	1					○	

	Freshm an English A II	1	1				○	
	Freshm an English B I	1	1				○	
	Freshm an English B II	1	1				○	
	Freshm an English C I	1	1				○	
	Freshm an English C II	1	1				○	
	Sophom ore English A I	2	1				○	
	Sophom ore English A II	2	1				○	
	Sophom ore English B I	2	1				○	
	Sophom ore English B II	2	1				○	

		Sophomore English C I	2	1				○		
		Sophomore English C II	2	1				○		
		TOEIC 対策講座	2		1			○		
全学 共通 科目	コミュニケーションスキル ズ科目群	海外英語実習A	1		2				○	
		海外英語実習B	2		2				○	
		初級フランス語 I	1		2			○		初級、手話については I・II を同一年度に履修
		初級フランス語 II	1		2			○		
		初級ドイツ語 I	1		2			○		
		初級ドイツ語 II	1		2			○		
		初級スペイン語 I	1		2			○		
		初級スペイン語 II	1		2			○		
		初級中国語 I	1		2			○		
		初級中国語 II	1		2			○		
		初級韓国語 I	1		2			○		
		初級韓国語 II	1		2			○		
		手話 I	1		2			○		
		手話 II	1		2			○		

									す る こ と
	中級フラ ンス語 I	1		1				○	
	中級フラ ンス語 II	1		1				○	
	中級ドイ ツ語 I	1		1				○	
	中級ドイ ツ語 II	1		1				○	
	中級スペ イン語 I	1		1				○	
	中級スペ イン語 II	1		1				○	
	中級中国 語 I	1		1				○	
	中級中国 語 II	1		1				○	
	中級韓国 語 I	1		1				○	
	中級韓国 語 II	1		1				○	
	上級フラ ンス語 I	1		1				○	
	上級フラ ンス語 II	1		1				○	
	上級ドイ ツ語 I	1		1				○	
	上級ドイ ツ語 II	1		1				○	
	上級スペ イン語 I	1		1				○	
	上級スペ イン語 II	1		1				○	

	上級中国語 I	1		1			○		
	上級中国語 II	1		1			○		
	上級韓国語 I	1		1			○		
	上級韓国語 II	1		1			○		
	日本語A I	1		1			○		留学生対象科目
	日本語A II	1		1			○		
	日本語B I	1		1			○		
	日本語B II	1		1			○		
	日本語C I	1		1			○		
	日本語C II	1		1			○		
リベラルアーツ科目群	統計学	1		2			○		
	自然科学A	1		2			○		
	自然科学B	1		2			○		
	自然科学C	1		2			○		
	数学	1		2			○		
	芸術学A	1		2			○		
	芸術学B	1		2			○		
	芸術学C	1		2			○		
	倫理学	1		2			○		
	歴史学	1		2			○		
	日本国憲法	1		2			○		
	子どもと	3		2			○		

		国際社会							
		世界の子 ども福祉	3		2		○		
		子どもの 感性と表 現	3		2		○		
		子どもと サイエン ス	3		2		○		
	リベラルア ーツ科目群	子どもと 文化	3		2		○		
		ソーシャ ルワーク と心理学	3		2		○		
		健康心理 学概論	2		2		○		
		政治学入 門	1		2		○		
		経済学入 門	1		2		○		
		経営学入 門	1		2		○		
		国際関係 入門	1		2		○		
		国際協力 入門	1		2		○		
		メデイ ア・リテ ラシー	1		2		○		
		社会思想	2		2		○		
		グローバ ル・スタ ディーズ 入門	1		2		○		
		アメリカ 入門	1		2		○		

			カナダ入門	1		2			○			
			ヨーロッパ・EU入門	1		2			○			
			北東アジア入門A	1		2			○			
			北東アジア入門B	1		2			○			
			東南アジア入門	1		2			○			
			オセアニア入門	1		2			○			
			中東入門	1		2			○			
			アフリカ入門	1		2			○			
			ラテンアメリカ入門	1		2			○			
			異文化間コミュニケーション入門	1		2			○			
			日本文化入門A	1		2			○			
			日本文化入門B	1		2			○			
			英語の世界	1		2			○			
専門 教育 科目	学部 共通 科目	概論	心理学概論 I	1		2			○			
			社会学概論 I	1		2			○			
			教育学概論 I	1		2			○			
			宗教学概論 I	1		2			○			

		論 I								
		心理学概論 II	1	2			○			
		社会学概論 II	1		2		○			このうちから4単位を選択
		教育学概論 II	1		2		○			
		宗教学概論 II	1		2		○			
		科学概論 I	2		2		○			
		科学概論 II	2		2		○			
	基礎演習	人間科学基礎演習 I	2	2				○		
		人間科学基礎演習 II	2	2				○		
	学科基礎科目	知の構築講座 I	1	1				○		
		知の構築講座 II	1	1				○		
		人間科学基礎論	1	2			○			
		人間科学研究序論	1	2			○			
学科専門科目	専攻基礎科目	心理学統計法 I	2	2			○			
		心理学研究法	2	2			○			
		心理学実験 I	2	2				○		

			心理学統計法Ⅱ	2		2		○			このうちから8単位を選択
			発達心理学	1・2・3・4		2		○			
			学習・言語心理学	1・2・3・4		2		○			
			対人社会心理学	1・2・3・4		2		○			
			臨床心理学概論	1・2・3・4		2		○			
			知覚・認知心理学	1・2・3・4		2		○			
			人生後半の心理学	2・3・4		2		○			
			哲学概論	2・3・4		2		○			
			科学と宗教	2・3・4		2		○			
専門教育科目	学科専門科目	専攻基礎科目	法学	1・2・3・4		2		○			
			人文地理学	1・2・3・4		2		○			
			日本史概説	1・2・3・4		2		○			
			外国史概説	1・2・3・4		2		○			
			自然地理学	1・2・3・4		2		○			
			生活のなかの図書館	1・2・3・4		2		○			
			文化人類学	1・2・3・4		2		○			
	学科専攻	臨床心理	カウンセリング入門	2・3・4		2		○			
			学校臨床	2・3・4		2		○			

専 門 科 目 群	学 科 目 群	心理学入 門												
		文化と モードの 深層心理	2・3・4		2			○						
		芸術と臨 床心理学	2・3・4		2			○						
		人格の病 理	2・3・4		2			○						
		親子の臨 床心理学	2・3・4		2			○						
		夢・イ メージの 深層	2・3・4		2			○						
		意識と無 意識の心 理学	2・3・4		2			○						
		心身医学	2・3・4		2			○						
		臨床発達 論	3・4		2			○						
		精神分析 入門	3・4		2			○						
		ユング心 理学	3・4		2			○						
		ブリーフ サイコセ ラピー論	3・4		2			○						
		社会心理 学科目群	メ デ ィ ア 心 理 学	2 ・ 3 ・ 4		2			○					
			認 知	2 ・		2			○					

			心理学	3 ・4						
			組織 社会 心理学	2 ・ 3 ・4		2		○		
			色彩 ・ 造 形 の 心理 学	2 ・ 3 ・4		2		○		
			精神 生 理 学	2 ・ 3 ・4		2		○		
			恋愛 心理 学	3 ・4		2		○		
			人 格 特 性 論	3 ・4		2		○		
		発達・健 康心理学	健康	2		2		○		

			科目群	心理 ア セ ス メ ン ト 概 論								
				児 童 発 達 心 理 学	2 ・ 3 ・4		2		○			
				青 年 心 理 学	2 ・ 3 ・4		2		○			
				教 育 心 理 学	2 ・ 3 ・4		2		○			
				健 康 教 育	3 ・4		2		○			
			コミュニ ティ・サ ポート科 目群	障 害 者 福 祉	2 ・ 3 ・4		2		○			

				論							
				ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 論	2 ・ 3 ・4		2		○		
				精 神 保 健 福 祉 論	2 ・ 3 ・4		2		○		
				医 療 福 祉 論	2 ・ 3 ・4		2		○		
				ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 論	2 ・ 3 ・4		2		○		
				臨 床 死 生 学	3 ・4		2		○		

特殊科目 群	心理学 特殊講義 A	2 ・ 3 ・4		2		○		
	心理学 特殊講義 B	2 ・ 3 ・4		2		○		
	心理学 特殊講義 C	2 ・ 3 ・4		2		○		
	英語で 読む心理 学 I	3 ・4		1			○	
	英語で	3 ・4		1			○	

				読む心理学Ⅱ						
				公認心理師の職責	1		2		○	
				関係行政論	1		2		○	
				人体の構造と機能及び疾病	1		2		○	
				福祉心理学	2 ・ 3 ・4		2		○	

專門教育科目	学科專門科目	学科專攻專門科目	公認心理師資格科目群	教育・学校心理学	2・3・4		2		○		
				産業・組織心理学	2・3・4		2		○		
				司法・犯罪心理学	2・3・4		2		○		
				社会・集団・家族心理学	2・3・4		2		○		
				感	2		2		○		

				情 ・ 3 ・ 4 人 格 心 理 学							
				神 經 ・ 3 ・ 4 生 理 心 理 学	2		2		○		
				障 害 者 ・ 3 ・ 4 障 害 児 心 理 学	2		2		○		
				精 神 疾 患 と そ の 治 療	2		2		○		
				心 理 ・ 4	3		2		○		

				学的支援法						
				心理的アセスメント	3 ・4		2		○	
				健康・医療心理学	3 ・4		2		○	
				心理演習	3		2		○	注 1
				心理実習	4		2			○ 注 2
			演習	心理アセスメント	2 ・ 3 ・4		4		○	こ の う ち か

				ント 実 習								ら 6 単 位 を 選 択	
				心 理 学 実 験 Ⅱ	3		2				○		
				心 理 学 調 査 実 習	3 ・ 4		4				○		
				生 理 的 心 理 測 定 実 習	3 ・ 4		4				○		
				対 人 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ	3 ・ 4		2				○		

				ン 演 習									
				心 理 学 演 習 I	3	2					○		
				心 理 学 演 習 II	3	2					○		
				心 理 学 演 習 III	4	2					○		
				心 理 学 演 習 IV	4	2					○		

(注1)15人以下のクラスの演習である。

(注2)15人以下のクラスの実習である。保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野に関する施設で80時間以上の実習を行う。

(2) 人間科学科教育・人間学専攻教育課程

科目区分	授 業 科	配 当 年	単位数			授業形態			備 考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	

		目 の 名 称	次						
全 学 共 通 科 目	キリスト教関連 科目群	キ リ ス ト 教 概 論 I	1	2			○		
		キ リ ス ト 教 概 論 II	2	2			○		
		キ リ ス ト 教 思 想 史	3		2		○		こ の う ち か ら 2 単 位 を 選 択
		聖 書 学 A	3		2		○		
		聖 書 学 B	3		2		○		

		キ リ ス ト 教 と 平 和	3		2		○		
		キ リ ス ト 教 と 教 育	3		2		○		
		キ リ ス ト 教 と 文 学	3		2		○		
		キ リ ス ト 教 と 政 治	3		2		○		
		キ リ ス ト	3		2		○		

		教 と 経 済							
		東 洋 英 和 の 歴 史	3		2		○		
	アカデミックス キルズ科目群	フ レ ッ シ ユ マ ン ・ セ ミ ナ ー I	1	1				○	
		フ レ ッ シ ユ マ ン ・ セ ミ ナ ー II	1	1				○	
		ア	1	1				○	

		カ デ ミ ツ ク ス キ ル ズ I							
		ア カ デ ミ ツ ク ス キ ル ズ II	1	1				○	
		基 礎 情 報 科 学 I	1	1				○	
		基 礎 情 報 科 学 II	1	1				○	
		情	2		1			○	

		報 処 理 演 習 A							
		情 報 処 理 演 習 B	2		1			○	
		情 報 処 理 演 習 C	2		1			○	
	ウエルネス科目 群	健 康 科 学 (講 義 ・実 技)	1		2		○		○
		女 性 の ウ ェ ル ネ ス	1		2		○		

		ス ポ ー ツ 科 学 A	1		1					○
		ス ポ ー ツ 科 学 B	1		1					○
		ス ポ ー ツ 科 学 C	1		1					○
		ス ポ ー ツ 科 学 D	1		1					○
		ス ポ ー ツ 科 学 E	1		1					○
		ス	1		1					○

		ポ ー ツ 科 学 F								
	ライフデザイン 科目群	ラ イ フ デ ザ イ ン	1	2			○			
		ジ ェ ン ダ ー ス タ デ イ ー ズ A	2		2		○			
		ジ ェ ン ダ ー ス タ デ イ ー ズ	2		2		○			

		B						
		女性とアート	2		2		○	
		女性のためのリーダーシップ	2		2		○	
		キャリアデザインA	3		2		○	
		キャリアデザイン	3		2		○	

		ン B							
		キ ヤ リ ア デ ザ イ ン C	3		2		○		
	コミュニケー ションスキルズ 科目群	Fr es hm an En gli sh A I	1	1				○	
		Fr es hm an En gli sh A II	1	1				○	
		Fr es hm an En gli sh	1	1				○	

		B I							
		Fr es hm an En gli sh B II	1	1				○	
		Fr es hm an En gli sh C I	1	1				○	
		Fr es hm an En gli sh C II	1	1				○	
		So ph om ore En gli sh	2	1				○	

		A I							
		So ph om ore En gli sh A II	2	1				○	
		So ph om ore En gli sh B I	2	1				○	
		So ph om ore En gli sh B II	2	1				○	
		So ph om ore En gli sh	2	1				○	

		C I							
		So ph om ore En gli sh C II	2	1				○	
		TO EI C 対 策 講 座	2		1			○	
		海 外 英 語 実 習 A	1		2				○
全 学 共 通 科 目	コ ミュ ニ ケー ション スキ ルズ 科目 群	海 外 英 語 実 習 B	2		2				○
		初 級 フ ラ	1		2			○	初 級、 手

		ンス語 I							話については I・II を同一年度に履修すること
		初級フランス語 II	1		2			○	
		初級ドイツ語 I	1		2			○	
		初級ドイツ語 II	1		2			○	
		初級スペイン語 I	1		2			○	
		初級	1		2			○	

		ス ペ イ ン 語 Ⅱ							
		初 級 中 国 語 Ⅰ	1		2			○	
		初 級 中 国 語 Ⅱ	1		2			○	
		初 級 韓 国 語 Ⅰ	1		2			○	
		初 級 韓 国 語 Ⅱ	1		2			○	
		手 話 Ⅰ	1		2			○	
		手 話 Ⅱ	1		2			○	

		中級 フランス語 I	1		1			○	
		中級 フランス語 II	1		1			○	
		中級 ドイツ語 I	1		1			○	
		中級 ドイツ語 II	1		1			○	
		中級 スペイン	1		1			○	

		語 I							
		中 級 ス ペ イ ン 語 II	1		1			○	
		中 級 中 国 語 I	1		1			○	
		中 級 中 国 語 II	1		1			○	
		中 級 韓 国 語 I	1		1			○	
		中 級 韓 国 語 II	1		1			○	
		上 級	1		1			○	

		フ ラ ン ス 語 I							
		上 級 フ ラ ン ス 語 II	1		1			○	
		上 級 ド イ ツ 語 I	1		1			○	
		上 級 ド イ ツ 語 II	1		1			○	
		上 級 ス ペ イ ン 語 I	1		1			○	

		上級 スペイン語 Ⅱ	1		1			○		
		上級 中国語 Ⅰ	1		1			○		
		上級 中国語 Ⅱ	1		1			○		
		上級 韓国語 Ⅰ	1		1			○		
		上級 韓国語 Ⅱ	1		1			○		
		日本語 A	1		1			○		留 学 生

		I							対 象 科 目
		日 本 語 A II	1		1			○	
		日 本 語 B I	1		1			○	
		日 本 語 B II	1		1			○	
		日 本 語 C I	1		1			○	
		日 本 語 C II	1		1			○	
	リベラルアーツ 科目群	統 計 学	1	2				○	
		自 然 科 学 A	1		2			○	
		自 然	1		2			○	

		科学 B							
		自然科学 C	1		2		○		
		数学	1		2		○		
		芸術学 A	1		2		○		
		芸術学 B	1		2		○		
		芸術学 C	1		2		○		
		倫理学	1		2		○		
		歴史学	1		2		○		
		日本国憲法	1		2		○		
		子ども	3		2		○		

		と 国 際 社 会							
		世 界 の 子 ど も 福 祉	3		2		○		
		子 ど も の 感 性 と 表 現	3		2		○		
		子 ど も と サイ エ ン ス	3		2		○		
		子 ど も と 文	3		2		○		

		化							
全 学 共 通 科 目	リベラルアーツ 科目群	ソ ー シ ャ ル ワ ー ク と 心 理 学	3		2		○		
		健 康 心 理 学 概 論	2		2		○		
		政 治 学 入 門	1		2		○		
		経 済 学 入 門	1		2		○		
		経 営 学 入 門	1		2		○		
		国	1		2		○		

		際 関 係 入 門							
		国 際 協 力 入 門	1		2		○		
		メ デ ィ ア ・ リ テ ラ シ ー	1		2		○		
		社 会 思 想	2		2		○		
		グ ロ ー バ ル ・ ス タ デ ィ ー ズ 入	1		2		○		

		門							
		アメリカ入門	1		2		○		
		カナダ入門	1		2		○		
		ヨーロッパ・EU入門	1		2		○		
		北東アジア入門A	1		2		○		
		北東アジア入門	1		2		○		

		B						
		東南アジア入門	1		2		○	
		オセアニア入門	1		2		○	
		中東入門	1		2		○	
		アフリカ入門	1		2		○	
		ラテンアメリカ入門	1		2		○	
		異文	1		2		○	

			化 間 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 入 門										
			日 本 文 化 入 門 A	1		2			○				
			日 本 文 化 入 門 B	1		2			○				
			英 語 の 世 界	1		2			○				
専 門 教 育	学 部 共 通	概 論	心 理 学 概	1		2			○				

科目	科目	論 I							
		社会学概論 I	1	2			○		
		教育学概論 I	1	2			○		
		宗教学概論 I	1	2			○		
		科学概論 I	2	2			○		
		心理学概論 II	1		2		○		
		社会学概論	1		2		○		
								このうちから4単位を	

	学科基礎科目		知の構築講座Ⅰ	1	1				○		
			知の構築講座Ⅱ	1	1				○		
			人間科学基礎論	1	2				○		
			人間科学研究序論	1	2				○		
学科専門科目	専攻基礎科目		哲学概論	2・3		2			○		このうちから
			科学と	2・3		2			○		

			宗教							2 単 位 を 選 択
			法 学	1・2		2		○		
			人 文 地 理 学	1・2		2		○		
			日 本 史 概 説	1・2		2		○		
			外 国 史 概 説	1・2		2		○		
			自 然 地 理 学	1・2		2		○		
			発 達 心 理 学	1・2・3・ 4		2		○		
			学 習 ・ 言 語 心 理 学	1・2・3・ 4		2		○		

			対人社会心理学	1・2・3・4		2		○			
			臨床心理学概論	1・2・3・4		2		○			
			知覚・認知心理学	1・2・3・4		2		○			
			人生後半の心理学	2・3・4		2		○			
専門教育科目	学科専門科目		生活のなかの図	1・2・3・4		2		○			このうちから

			書館							2	単位を選択
			文化人類学	1・2・3		2		○			
			生と死をめぐる人間学	2	2			○			
			心理学統計法Ⅰ	2		2		○			
			社会調査の基礎	1・2		2		○			
		学科専攻専	専攻教養科	人間と宇宙	2・3・4		2		○		このうち

		門 科 目	目	進 化 か ら み た 人 間	2・3		2		○			か ら 6 単 位 を 選 択
				宗 教 と 社 会	2・3		2		○			
				犯 罪 と 社 会	3・4		2		○			
				日 本 文 化 論	2・3		2		○			
				図 書 館 の 比 較 文 化 論	2・3・4		2		○			
				博 物 館 教	2・3		2		○			

				育 論								
				生 涯 学 習 概 論	2・3・4		2		○			
				色 彩 ・ 造 形 の 心 理 学	2・3・4		2		○			
				芸 術 の 理 解 A	2・3		2		○			
				芸 術 の 理 解 B	2・3		2		○			
				古 典 語 A	2・3・4		2			○		
				古 典 語 B	2・3・4		2			○		

			古 典 語 C	2・3・4		2			○	
			古 典 語 D	2・3・4		2			○	
		専 攻 専 門 科 目	学 校 の 社 会 学	3 ・ 4		2			○	
			ジ ェ ン ダ ー と 現 代 社 会	2 ・ 3		2			○	
			女 性 教 育 論	3 ・ 4		2			○	
			教 育 心 理 学	2 ・ 3		2			○	
			青 年	2 ・ 3		2			○	

				心理学								
				教育学特論A	2 ・3		2		○			
				教育学特論B	2 ・3		2		○			
				教育社会学	2 ・3		2		○			
				家族と社会	2 ・3		2		○			
				家族関係論	2 ・3		2		○			
				子どもの読書	3 ・4		2		○			

				支援								
				生涯学習 社会と 図書館 サービス	2 ・ 3 ・4		2		○			
				図書館 と 情報	2 ・ 3 ・4		2		○			
				社会 調査 法	2 ・3		2		○			
				死 生 学	3 ・4		2		○			
				生 命 倫 理	2 ・3		2		○			
				共 生	3 ・4		2		○			

				教育論								
				芸術と臨床心理学	2 ・ 3 ・4		2			○		
				宗教思想史	2 ・3		2			○		
				夢・イメージの深層	2 ・ 3 ・4		2			○		
				神話と物語 A	2 ・3		2			○		
				神話と物語 B	2 ・3		2			○		

			人間と自然環境	2 ・3		2		○			
			英語で学ぶ人間学Ⅰ	3	2			○			
			英語で学ぶ人間学Ⅱ	3	2			○			
		アクティブラーニング	社会調査演習Ⅰ	3 ・4		2			○		このうちから 2単位を
			社会調査	3 ・4		2			○		

				一 タ で 読 む 教 育 ・家 族	・3							
				フ イ ー ル ド 調 査 法	2 ・3		2				○	
				文 献 研 究 演 習	3 ・4		2				○	
				コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 演 習	2 ・3		2				○	
専 門	学 科	学 科	ア ク	プ ロ	2 ・3		2				○	こ

教育科目	専門科目	専攻専門科目	プロジェクト学習 A							のうちから2単位を選択	
			プロジェクト学習 B	2 ・3		2			○		
			プロジェクト学習 C	2 ・3		2			○		
			プロジェクト学習 D	2 ・3		2			○		
			ア ク イ	2 ・		1			○		こ

			テ ィ ブ ラ ー ニ ン グ 科 目 群 C	ー ル ド ワ ー ク A	3 ・4								の う ち か ら 1 単 位 を 選 択
				フ ィ ー ル ド ワ ー ク B	2 ・ 3 ・4		1				○		
				フ ィ ー ル ド ワ ー ク C	2 ・ 3 ・4		1				○		
				フ ィ ー ル ド ワ ー ク D	2 ・ 3 ・4		1				○		
				フ ィ ー	2 ・		1				○		

			ー ル ド ワ ー ク E	3 ・4								
			歴 史 文 化 研 修 A	2 ・ 3 ・4		2				○		
			歴 史 文 化 研 修 B	2 ・ 3 ・4		2				○		
			歴 史 文 化 研 修 C	2 ・ 3 ・4		4				○		
		演 習	人 間 科 学 演 習 I	3	2					○		
			人	3	2					○		

			間 科 学 演 習 Ⅱ								
			卒 業 研 究 Ⅰ	4	2					○	
			卒 業 研 究 Ⅱ	4	2					○	
		教 職 關 連 科 目 群	世 界 地 誌	1 ・ 2		2			○		
			政 治 学	2 ・ 3		2			○		
			政 治 思 想	2 ・ 3		2			○		
			比 較 政 治 社 会 学	2 ・ 3		2			○		
			社 会	3		2			○		

				科 ・地 歴 科 教 育 法 I								
				社 会 科 ・地 歴 科 教 育 法 II	3		2			○		
				社 会 科 ・公 民 科 教 育 法 I	3		2		○			
				社 会 科 ・公 民 科 教 育	3		2			○		

				法 Ⅱ								
--	--	--	--	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

(3) 保育子ども学科教育課程

科目区分	授 業 科 目 の 名 称	配 当 年 次	単位数			授業形態			備 考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習		
全 学 共 通 科 目	キリスト 教関連科 目群	キ リ ス ト 教 概 論 Ⅰ	1	2			○			
		キ リ ス ト 教 概 論 Ⅱ	2	2			○			
		キ リ ス ト 教 思 想	3		2			○		

		史						
		聖書学A	3		2		○	
		聖書学B	3		2		○	
		キリスト教と平和	3		2		○	
		キリスト教と教育	3		2		○	
		キリスト教と文学	3		2		○	
		キリス	3		2		○	

		ト 教 と 政 治							
		キ リ ス ト 教 と 経 済	3		2		○		
		東 洋 英 和 の 歴 史	3		2		○		
	アカデ ミック スキルズ科 目群	フ レ ッ シ ユ マ ン ・ セ ミ ナ ー I	1	1			○		
		フ レ ッ シ	1	1			○		

		ユ マ ン ・ セ ミ ナ ー Ⅱ							
		ア カ デ ミ ツ ク ス キ ル ズ Ⅰ	1	1				○	
		ア カ デ ミ ツ ク ス キ ル ズ Ⅱ	1	1				○	
		基 礎 情 報 科 学	1	1			○		

		I							
		基礎情報科学Ⅱ	1	1			○		
		情報処理演習A	2		1			○	
		情報処理演習B	2		1			○	
		情報処理演習C	2		1			○	
	ウェルネス科目群	健康科学(講義・実)	1	2			○		○

		技)						
		女性のウェルネス	1		2		○	
		スポーツ科学A	1		1			○
		スポーツ科学B	1		1			○
		スポーツ科学C	1		1			○
		スポーツ科学	1		1			○

		D							
		スポーツ科学E	1		1				○
		スポーツ科学F	1		1				○
	ライフデザイン科目群	ライフデザイン	1	2			○		
		ジェンダースタディーズA	2		2		○		
		ジェン	2		2		○		

		ダ ー ス タ デ ィ ー ズ B							
		女 性 と ア ー ト	2		2		○		
		女 性 の た め の リ ー ダ ー シ ッ プ	2		2		○		
		キ ャ リ ア デ ザ ィ ン	3		2		○		

	A							
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン B	3		2		○		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン C	3		2		○		
	Fre sh ma n En glis h A I	1	1				○	
	Fre sh ma n En glis h A	1	1				○	

		II						
		Fre sh ma n En glis h B I	1	1				○
		Fre sh ma n En glis h B II	1	1				○
		So pho mo re En glis h A I	2	1				○
		So pho mo re En glis h A	2	1				○

		II							
		So pho mo re En glis h B I	2	1				○	
		So pho mo re En glis h B II	2	1				○	
		TO EI C 対 策 講 座	2		1			○	
		海 外 英 語 実 習 A	1		2				○
全 学 共	コ ミュ ニ ケー ショ ンス キ ル	海 外 英	2		2				○

通 科 目	ズ科目群	語 実 習 B								
		初 級 フ ラ ン ス 語 I	1		2			○		初 級、 手 話 に つ い て は I ・ II を 同 一 年 度 に 履 修 す る こ と
		初 級 フ ラ ン ス 語 II	1		2			○		
		初 級 ド イ ツ 語 I	1		2			○		
		初 級 ド イ ツ 語 II	1		2			○		
		初 級	1		2			○		

		ス ペ イ ン 語 I						
		初 級 ス ペ イ ン 語 II	1		2			○
		初 級 中 国 語 I	1		2			○
		初 級 中 国 語 II	1		2			○
		初 級 韓 国 語 I	1		2			○
		初 級 韓 国	1		2			○

		語 Ⅱ						
		手 話 Ⅰ	1		2			○
		手 話 Ⅱ	1		2			○
		中 級 フ ラ ン ス 語 Ⅰ	1		1			○
		中 級 フ ラ ン ス 語 Ⅱ	1		1			○
		中 級 ド イ ツ 語 Ⅰ	1		1			○
		中 級 ド イ ツ	1		1			○

		語 Ⅱ						
		中 級 ス ペ イ ン 語 Ⅰ	1		1			○
		中 級 ス ペ イ ン 語 Ⅱ	1		1			○
		中 級 中 国 語 Ⅰ	1		1			○
		中 級 中 国 語 Ⅱ	1		1			○
		中 級 韓 国 語 Ⅰ	1		1			○

		中級 韓国語 Ⅱ	1		1			○	
		上級 フランス語 Ⅰ	1		1			○	
		上級 フランス語 Ⅱ	1		1			○	
		上級 ドイツ語 Ⅰ	1		1			○	
		上級 ドイツ語 Ⅱ	1		1			○	

		上級 スペイン語 I	1		1			○		
		上級 スペイン語 II	1		1			○		
		上級 中国語 I	1		1			○		
		上級 中国語 II	1		1			○		
		上級 韓国語 I	1		1			○		
		上級	1		1			○		

		韓国語 II							
		日本語 A I	1		1			○	留学生及びそれに準ずると大学が認めた者対象科目
		日本語 A II	1		1			○	
		日本語 B I	1		1			○	
		日本語 B II	1		1			○	
		日本語 C I	1		1			○	
		日本語 C II	1		1			○	
	リベラル アーツ科	自然	1		2			○	

目群	科学 A							
	自然科学 B	1		2		○		
	自然科学 C	1		2		○		
	数学	1		2		○		
	芸術学 A	1		2		○		
	芸術学 B	1		2		○		
	芸術学 C	1		2		○		
	倫理学	1		2		○		
	歴史学	1		2		○		
	統計学	1		2		○		

		日本国憲法	1		2		○		
		健康心理学概論	2		2		○		
		人生後半の心理学	2		2		○		
		生活のなかの図書館	1		2		○		
		政治学入門	1		2		○		
		経済	1		2		○		

		学 入 門								
全 学 共 通 科 目	リベラル アーツ科 目群	経 営 学 入 門	1		2		○			
		国 際 関 係 入 門	1		2		○			
		国 際 協 力 入 門	1		2		○			
		メ デ ィ ア ・リ テ ラ シ ー	1		2		○			
		人 文 地 理 学	1		2		○			
		自 然	1		2		○			

		地 理 学						
		社 会 思 想	2		2		○	
		グ ロ ー バ ル ・ ス タ デ ィ ー ズ 入 門	1		2		○	
		ア メ リ カ 入 門	1		2		○	
		カ ナ ダ 入 門	1		2		○	
		ヨ ー ロ ッ パ	1		2		○	

		・ EU 入 門							
		北 東 ア ジ ア 入 門 A	1		2		○		
		北 東 ア ジ ア 入 門 B	1		2		○		
		東 南 ア ジ ア 入 門	1		2		○		
		オ セ ア ニ ア 入 門	1		2		○		
		中 東	1		2		○		

		入門						
		ア フ リ カ 入 門	1		2		○	
		ラ テ ン ア メ リ カ 入 門	1		2		○	
		異 文 化 間 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 入 門	1		2		○	
		文 化 人 類	1		2		○	

		学								
		日本文化入門A	1		2			○		
		日本文化入門B	1		2			○		
		英語の世界	1		2			○		
専門教育科目	学部共通科目	概論								
		心理学概論I	1	2				○		
		教育学概論I	1		2				○	
		社会学概	1	2				○		

			論 I							
			宗 教 学 概 論 I	1	2			○		
			科 学 概 論 I	2		2		○		
			心 理 学 概 論 II	1		2		○		
			教 育 学 概 論 II	1		2		○		
			社 会 学 概 論 II	1		2		○		
			宗 教 学 概 論	1		2		○		

		II								
		科学概論 II	2		2			○		
	基礎演習	保育子ども基礎演習 I	2	2					○	
		保育子ども基礎演習 II	2	2					○	
		子ども家庭福祉	1	2					○	
	学科基礎科目	保育教	1	2					○	
										このうちから2単位を

		育原理								選択
		キリスト教人間形成論	4		2		○			
		キリスト教保育	4		2		○			
学科専門科目	保育子ども基幹科目群	子どもと国際社会	3		2		○			3 つのうち、どれかのコースを選び、そ
		世界の子ども福祉	3		2		○			

			Sp eak ing En glis h wit h Chi ldr en	3		2		○			の 中 で6 単 位 を 選 択
			子 ど も と 国 際 (フ ィ ー ル ド ワ ー ク A)	3		2			○		
			子 ど も の 感 性 と 表 現	3		2		○			
			子	3		2		○			

			どもとサイエンス						
			子どもと文化	3		2		○	
			子どもと感性 (フイールドワー ク B)	3		2			○
			子どもの臨 床心	3		2		○	

			理 学						
			感 情 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン の 心 理 学	3		2		○	
			ソ ー シ ャ ル ワ ー ク と 心 理 学	3		2		○	
			子 ど も と 心 理	3		2			○

			(フ イ ー ル ド ワ ー ク)								
専 門 教 育 科 目	学 科 専 門 科 目	本 質 ・ 目 的 の 理 解 科 目 群	教 育 思 想 史	1	2			○			
			保 育 者 論	1		2		○			
			子 ど も 家 庭 支 援 論	2		2		○			
			社 会 的 養 護 I	2		2		○			
			社 会 福 祉	1		2		○			

対象の理解科目群	教育社会学	2		2		○		
	子どもの心理と発達 I	2		2		○		
	子どもの心理と発達 II	2		2			○	
	子ども家庭支援の心理学	3		2		○		

		教育相談	3		2		○		
		子どもの保健	2		2		○		
		子どもの食と栄養	2		2			○	
内容・方法及び指導法の科目群	保育・教育課程論	4	2				○		
	保育内容総論	1		2				○	
	保育内容各	2	2					○	

			論 (健康)							
			保 育 内 容 各 論 (人 間 関 係)	1	2				○	
			保 育 内 容 各 論 (環 境)	1	2				○	
			保 育 内 容 各 論 (言 葉)	2	2				○	
			保 育 内 容 各 論 (表	2	2				○	

			現)						
			幼 児 の 理 解 と 教 育 の 方 法	2		2		○	
			乳 児 保 育 I	2		2		○	
			乳 児 保 育 II	3		2		○	
			子 ど も の 健 康 と 安 全	2		2		○	
			特 別 支 援 保	3	2			○	

			育 論						
			社 会 的 養 護 Ⅱ	3		2			○
			子 育 て 支 援	3		2			○
			保 育 の 基 礎 技 能	1		2			○
			保 育 内 容 (健 康) の 指 導 法	3	2				○
			保 育 内 容 (人 間	2	2				○

			関係)の指導法						
			保育内容(環境)の指導法	2	2				○
			保育内容(言葉)の指導法	3	2				○
			保育内容(音楽表現)の指	3	2				○

			導法							
			保育内容 (造形表現) の指導法	3	2				○	
			保育内容 (身体表現) の指導法	3	2				○	
		演習	保育子ども 演習 I	3	2				○	
			保育	3	2				○	

			子ども演習Ⅱ							
			保育子ども演習Ⅲ	4	2				○	
			保育子ども演習Ⅳ	4	2				○	
	実習		教育実習Ⅰ	3		2				○
			教育実習Ⅱ	4		2				○
			教育実習	3		1			○	

			指導 I						
			教育 実 習 指 導 II	4		1			○
			保 育 実 習 I A(保 育 所)	2		2			○
			保 育 実 習 I B(施 設)	3		2			○
			保 育 実 習 II (保 育 所)	4		2			○
			保	4		2			○

			育 実 習 Ⅲ (施 設)						
			保 育 実 習 指 導 Ⅰ A	2		1			○
			保 育 実 習 指 導 Ⅰ B	2		1			○
			保 育 実 習 指 導 Ⅱ	4		1			○
			保 育 実 習 指 導 Ⅲ	4		1			○

			保 育 ・教 職 実 践 演 習 (幼 稚 園)	4		2			○		
--	--	--	--	---	--	---	--	--	---	--	--

別表2 国際社会学部教育課程

(1) 国際社会学科教育課程

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習		
全学共通科目	キリスト教関連科目群	キリスト教概論Ⅰ	1	2			○			このうちから2単位を選択
		キリスト教概論Ⅱ	2	2			○			
		キリスト教思想史	3		2		○			
		聖書学A	3		2		○			
		聖書学B	3		2		○			
		キリスト教と平和	3		2		○			

		キリスト教と教育	3		2		○		
		キリスト教と文学	3		2		○		
		キリスト教と政治	3		2		○		
		キリスト教と経済	3		2		○		
		東洋英和の歴史	3		2		○		
	アカデミックス キルズ科目群	フレッシュマン・セミナーⅠ	1	1				○	
		フレッシュマン・セミナーⅡ	1	1				○	
		アカデミックスキルズⅠ	1	1				○	
		アカデミックスキルズⅡ	1	1				○	
		基礎情報科学Ⅰ	1	1			○		

		基礎情報科学Ⅱ	1	1			○		
		情報処理演習A	2		1			○	
		情報処理演習B	2		1			○	
		情報処理演習C	2		1			○	
	ウェルネス科目群	健康科学(講義・実技)	1		2		○		○
		女性のウェルネス	1		2		○		
		スポーツ科学A	1		1				○
		スポーツ科学B	1		1				○
		スポーツ科学C	1		1				○
		スポーツ科学D	1		1				○
		スポーツ科学E	1		1				○
		スポーツ科学	1		1				○

	F								
ライフデザイン 科目群	ライフ デザイ ン	1	2			○			
	ジェン ダース タ ディー ズA	2		2		○			この うちか ら2単 位を選 択
	ジェン ダース タ ディー ズB	2		2		○			
	女性と アート	2		2		○			
	女性の ための リー ダー シップ	2		2		○			
	キャリ アデザ インA	3		2		○			
	キャリ アデザ インB	3		2		○			
	キャリ アデザ インC	3		2		○			
Fresh man Englis h A I	1	1				○			
Fresh man	1	1				○			

		English A II								
		Freshman English B I	1	1				○		
		Freshman English B II	1	1				○		
		Freshman English C I	1	1				○		
全学共通科目	コミュニケーションスキルズ 科目群	Freshman English C II	1	1				○		
		Sophomore English A I	2	1				○		
		Sophomore English A II	2	1				○		
		Sophomore English B I	2	1				○		
		Sophomore English B II	2	1				○		
		Sophomore	2	1				○		

		English C I								
		Sophomore English C II	2	1				○		
		TOEIC C 対策講座	2		1			○		
		海外英語実習 A	1		2				○	
		海外英語実習 B	2		2				○	
		初級フランス語 I	1		2			○		第2外国語・手話より4単位を選択、なお、初級、手話については I・II を同一年度に履修すること
		初級フランス語 II	1		2			○		
		初級ドイツ語 I	1		2			○		
		初級ドイツ語 II	1		2			○		
		初級スペイン語 I	1		2			○		
		初級スペイン語 II	1		2			○		
		初級中国語 I	1		2			○		
		初級中	1		2			○		

		国語Ⅱ							
		初級韓 国語Ⅰ	1		2			○	
		初級韓 国語Ⅱ	1		2			○	
		手話Ⅰ	1		2			○	
		手話Ⅱ	1		2			○	
		中級フ ランス 語Ⅰ	1		1			○	
		中級フ ランス 語Ⅱ	1		1			○	
		中級ド イツ語 Ⅰ	1		1			○	
		中級ド イツ語 Ⅱ	1		1			○	
		中級ス ペイン 語Ⅰ	1		1			○	
		中級ス ペイン 語Ⅱ	1		1			○	
		中級中 国語Ⅰ	1		1			○	
		中級中 国語Ⅱ	1		1			○	
		中級韓 国語Ⅰ	1		1			○	
		中級韓 国語Ⅱ	1		1			○	
		上級フ ランス 語Ⅰ	1		1			○	

	上級フランス語Ⅱ	1		1			○		
	上級ドイツ語Ⅰ	1		1			○		
	上級ドイツ語Ⅱ	1		1			○		
	上級スペイン語Ⅰ	1		1			○		
	上級スペイン語Ⅱ	1		1			○		
	上級中国語Ⅰ	1		1			○		
	上級中国語Ⅱ	1		1			○		
	上級韓国語Ⅰ	1		1			○		
	上級韓国語Ⅱ	1		1			○		
	日本語AⅠ	1		1			○		留学生対象科目
	日本語AⅡ	1		1			○		
	日本語BⅠ	1		1			○		
	日本語BⅡ	1		1			○		
	日本語CⅠ	1		1			○		
	日本語CⅡ	1		1			○		
	自然科	1		2			○		

		学A								
		自然科学B	1		2		○			
全学共通科目	リベラルアーツ 科目群	自然科学C	1		2		○			
		数学	1		2		○			
		芸術学A	1		2		○			
		芸術学B	1		2		○			
		芸術学C	1		2		○			
		倫理学	1		2		○			
		歴史学	1		2		○			
		統計学	1		2		○			
		日本国憲法	1		2		○			
		心理学概論I	1		2		○			
		心理学概論II	1		2		○			
		社会学概論I	1		2		○			
		社会学概論II	1		2		○			
		宗教学概論I	1		2		○			
		宗教学概論II	1		2		○			
		教育学概論I	1		2		○			
		教育学概論II	1		2		○			
		科学概論I	2		2		○			
		科学概	2		2		○			

		論Ⅱ							
		健康心理学概論	2		2		○		
		人生後半の心理学	2		2		○		
		生活のなかの図書館	1		2		○		
		子どもと国際社会	3		2		○		
		世界の子ども福祉	3		2		○		
		子どもの感性と表現	3		2		○		
		子どもとサイエンス	3		2		○		
		子どもと文化	3		2		○		
		ソーシャルワークと心理学	3		2		○		
		グローバル・スタディーズ入門	1		2		○		
		アメリカ入門	1		2		○		

		カナダ 入門	1		2		○		
		ヨーロッパ・EU 入門	1		2		○		
		北東アジア入 門A	1		2		○		
		北東アジア入 門B	1		2		○		
		東南アジア入 門	1		2		○		
		オセアニア入 門	1		2		○		
		中東入 門 		1		2		○		
		アフリ カ入門	1		2		○		
		ラテン アメリカ入 門	1		2		○		
		異文化 間 コ ミュニ ケー ション 入門	1		2		○		
		文化人 類学	1		2		○		
		日本文 化入門	1		2		○		

		A								
		日本文 化入門	1		2			○		
		B								
		英語の 世界	1		2			○		
専門教 育科目	学部共通科目	21世紀 の国際 社会を みる視 点	1	2				○		
		国際社 会基礎 ゼミ ナール I	2	2				○		
		国際社 会基礎 ゼミ ナール II	2	2				○		
		国際社 会ゼミ ナール I	3	2				○		
		国際社 会ゼミ ナール II	3	2				○		
		国際社 会ゼミ ナール III	4	2				○		
		国際社 会ゼミ ナール	4	2				○		

		IV								
学科専門科目	国際政治コース科目群	国際関係入門	1・2	2			○			
		政治学入門	1・2		2		○			
		国際関係史	1・2		2		○			
		国際関係論Ⅰ	2・3		2		○			
		国際関係論Ⅱ	2・3		2		○			
		日本政治外交史Ⅰ	2・3		2		○			
		日本政治外交史Ⅱ	2・3		2		○			
		政治学	2・3		2		○			
		政治心理学	2・3		2		○			
		国際安全保障論	2・3・4		2		○			
		国際政治経済論	2・3・4		2		○			
		紛争解決論	2・3・4		2		○			
		外交論	2・3・4		2		○			
		国際情勢分析セミナー	3・4		2			○		
		国際政治特殊	2・3・4		2			○		

			演習							
	経済・ ビジネ スコー ス科目 群	経済学 入門	1・2		2		○			
		経営学 入門	1・2		2		○			
		経済史	1・2		2		○			
		マクロ 経済学	2・3		2		○			
		ミクロ 経済学	2・3		2		○			
		国際経 済論	2・3		2		○			
		金融論	2・3		2		○			
		マーケ ティン グ論	2・3		2		○			
		行動経 済学	2・3・ 4		2		○			
		公共経 済論	2・3・ 4		2		○			
		情報経 済論	2・3・ 4		2		○			
		経済・ ビジネ ス分析 ワーク ショッ プ	2・3・ 4		2			○		
		経済特 殊演習	2・3・ 4		2			○		
	国際協 力コー ス科目 群	国際協 力入門	1・2	2			○			
		国際社 会学	1・2		2		○			
		国際機 構論	2・3		2		○			

			国際開 発論	2・3		2		○			
			国際法 I	2・3		2		○			
			国際法 II	2・3		2		○			
			国際協 力論A	2・3		2		○			
			国際協 力論B	2・3		2		○			
専門教 育科目	学科専 門科目	国際協 力コー ス科目 群	地球規 模問題	2・3・ 4		2		○			
			市民と 社会	2・3・ 4		2		○			
			開発経 済論	2・3・ 4		2		○			
			国際協 力ワー ク シヨッ プ	2・3・ 4		2			○		
			フィー ルド調 査法	2・3・ 4		2			○		
			海外研 修A	2・3・ 4		2			○		
			海外研 修B	2・3・ 4		2			○		
			海外研 修C	2・3・ 4		2			○		
		メディ ア社会 コース 科目群	メディ ア・リ テラ シー	1・2		2		○			
			ジャー ナリズ	2・3		2		○			

			ム論							
			メディア心理学	2・3		2		○		
			メディア文化論	2・3		2		○		
			現代メディア論A	2・3		2		○		
			現代メディア論B	2・3		2		○		
			現代メディア論C	2・3		2		○		
			世界のメディア	2・3・4		2		○		
			メディアの歴史と現在	2・3・4		2		○		
			国際時事問題研究	2・3・4		2		○		
			報道英語	2・3・4		2		○		
			マスコミ文章実習	2・3・4		2			○	
			アナウンス技術論	2・3		2			○	

			メディア ア演習 A	2・3		2			○		
			メディア ア演習 B	2・3		2			○		
			メディア ア演習 C	2・3		2			○		
			メディア ア演習 D	2・3		2			○		
			メディア ア演習 E	2・3		2			○		
		学科英 語科目 群	Englis h for Intern ationa l Busin ess A	1・2		2			○		
			Englis h for Intern ationa l Busin ess B	1・2		2			○		
			Englis h for World Affair s A	2・3		2			○		
			Englis h for	2・3		2			○		

			World Affair s B								
			Global Persp ective s A	3・4		2		○			
			Global Persp ective s B	3・4		2		○			
			Englis h for Touris m	3・4		2		○			
		学科教 養科目 群	日本史 概説	1・2		2		○			
			外国史 概説	1・2		2		○			
			人文地 理学	1・2		2		○			
			自然地 理学	1・2		2		○			
			社会調 査の基 礎	1・2		2		○			
			世界地 誌 		1・2		2		○			
			法学	1・2		2		○			
			哲学概 論	2・3		2		○			
			政治思 想	2・3		2		○			
			社会思 想	2・3		2		○			

専門教育科目	学科専門科目	学科教養科目群	比較政治社会学	2・3		2		○		
			データで読む社会	2・3		2		○		
			社会調査法	2・3		2		○		
			国際教養セミナー	2・3		2			○	
			社会調査演習Ⅰ	3・4		2			○	
			社会調査演習Ⅱ	3・4		2			○	
			インターンシップA	2・3		2		○		
			インターンシップB	2・3		2		○		
			社会科・地歴科教育法Ⅰ	3		2		○		
			社会科・地歴科教育法Ⅱ	3		2			○	
社会科・公民科教	3		2		○					

			育法 I							
			社 会 科・公 民科教 育法 II	3		2			○	
		留学関 係科目 群	Englis h for Study Abroa d A	1・2		2			○	
			Englis h for Study Abroa d B	1・2		2			○	
			留学準 備講座	2・3		2			○	

(2) 国際コミュニケーション学科教育課程

科目区分	授業科 目の名 称	配当年 次	単位数			授業形態			備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	
全学共 通科目	キリスト教関連 科目群	キリス ト教概 論 I	1	2			○		
		キリス ト教概 論 II	2	2			○		
		キリス ト教思 想 史 		3		2		○		この うちか ら2単 位を選 択
		聖書学 A	3		2		○		
		聖書学 B	3		2		○		

		キリスト教と平和	3		2		○		
		キリスト教と教育	3		2		○		
		キリスト教と文学	3		2		○		
		キリスト教と政治	3		2		○		
		キリスト教と経済	3		2		○		
		東洋英和の歴史	3		2		○		
	アカデミックス キルズ科目群	フレッシュマン・セミナーⅠ	1	1				○	
		フレッシュマン・セミナーⅡ	1	1				○	
		アカデミックスキルズⅠ	1	1				○	
		アカデミックスキルズⅡ	1	1				○	

		基礎情報科学 I	1	1			○		
		基礎情報科学 II	1	1			○		
		情報処理演習 A	2		1			○	
		情報処理演習 B	2		1			○	
		情報処理演習 C	2		1			○	
	ウェルネス科目群	健康科学(講義・実技)	1		2		○		○
		女性のウェルネス	1		2		○		
		スポーツ科学 A	1		1				○
		スポーツ科学 B	1		1				○
		スポーツ科学 C	1		1				○
		スポーツ科学 D	1		1				○
		スポーツ科学	1		1				○

	E									
	スポーツ科学	1		1					○	
	F									
ライフデザイン 科目群	ライフデザイン	1	2				○			
	ジェンダースタディーズA	2		2			○			このうちから2単位を選択
	ジェンダースタディーズB	2		2			○			
	女性とアート	2		2			○			
	女性のためのリーダーシップ	2		2			○			
	キャリアデザインA	3		2			○			
	キャリアデザインB	3		2			○			
	キャリアデザインC	3		2			○			
	Freshman English	1	1					○		

		h A I								
		Fresh man Englis h A II	1	1				○		
		Fresh man Englis h B I	1	1				○		
		Fresh man Englis h B II	1	1				○		
		Fresh man Englis h C I	1	1				○		
		Fresh man Englis h C II	1	1				○		
		Sopho more Englis h A I	2	1				○		
全学共 通科目	コミュニケー ションスキルズ 科目群	Sopho more Englis h A II	2	1				○		
		Sopho more Englis h B I	2	1				○		
		Sopho more Englis	2	1				○		

		h B II								
		Sophomore English	2	1					○	
		h C I								
		Sophomore English	2	1					○	
		h C II								
		TOEIC対策講座	2		1				○	
		海外英語実習A	1		2					○
		海外英語実習B	2		2					○
		初級フランス語 I	1		2				○	
		初級フランス語 II	1		2				○	
		初級ドイツ語 I	1		2				○	
		初級ドイツ語 II	1		2				○	
		初級スペイン語 I	1		2				○	
		初級スペイン語 II	1		2				○	
										第2外国語・手話より4単位を選択、なお、初級、手話についてはI・IIを同一年度に履修すること

		初級中国語Ⅰ	1		2			○	
		初級中国語Ⅱ	1		2			○	
		初級韓国語Ⅰ	1		2			○	
		初級韓国語Ⅱ	1		2			○	
		手話Ⅰ	1		2			○	
		手話Ⅱ	1		2			○	
		中級フランス語Ⅰ	1		1			○	
		中級フランス語Ⅱ	1		1			○	
		中級ドイツ語Ⅰ	1		1			○	
		中級ドイツ語Ⅱ	1		1			○	
		中級スペイン語Ⅰ	1		1			○	
		中級スペイン語Ⅱ	1		1			○	
		中級中国語Ⅰ	1		1			○	
		中級中国語Ⅱ	1		1			○	
		中級韓国語Ⅰ	1		1			○	
		中級韓国語Ⅱ	1		1			○	

		上級フランス語 I	1		1			○		
		上級フランス語 II	1		1			○		
		上級ドイツ語 I	1		1			○		
		上級ドイツ語 II	1		1			○		
		上級スペイン語 I	1		1			○		
		上級スペイン語 II	1		1			○		
		上級中国語 I	1		1			○		
		上級中国語 II	1		1			○		
		上級韓国語 I	1		1			○		
		上級韓国語 II	1		1			○		
		日本語 A I	1		1			○		留学生及びそれに準ずると大学が認めた者対象科目
		日本語 A II	1		1			○		
		日本語 B I	1		1			○		
		日本語 B II	1		1			○		
		日本語 C I	1		1			○		

		日本語 CⅡ	1		1			○		
		自然科学 学A	1		2			○		
		自然科学 学B	1		2			○		
		自然科学 学C	1		2			○		
		数学	1		2			○		
		芸術学 A	1		2			○		
全学共 通科目	リベラルアーツ 科目群	芸術学 B	1		2			○		
		芸術学 C	1		2			○		
		倫理学	1		2			○		
		歴史学	1		2			○		
		統計学	1		2			○		
		日本国 憲法	1		2			○		
		心理学 概論Ⅰ	1		2			○		
		心理学 概論Ⅱ	1		2			○		
		社会学 概論Ⅰ	1		2			○		
		社会学 概論Ⅱ	1		2			○		
		宗教学 概論Ⅰ	1		2			○		
		宗教学 概論Ⅱ	1		2			○		
		教育学 概論Ⅰ	1		2			○		
		教育学 概論Ⅱ	1		2			○		

		科学概 論 I	2		2		○		
		科学概 論 II	2		2		○		
		健康心 理学概 論	2		2		○		
		人生後 半の心 理学	2		2		○		
		生活の なかの 図書館	1		2		○		
		子ども と国際 社会	3		2		○		
		世界の 子ども 福祉	3		2		○		
		子ども の感性 と表現	3		2		○		
		子ども とサイ エンス	3		2		○		
		子ども と文化	3		2		○		
		ソ ー シャル ワーク と心理 学	3		2		○		
		政治学 入門	1		2		○		
		経済学 入門	1		2		○		

		経営学 入門	1		2		○		
		国際関 係入門	1		2		○		
		国際協 力入門	1		2		○		
		メディ ア・リ テラ シー	1		2		○		
		人文地 理学	1		2		○		
		自然地 理学	1		2		○		
		社会思 想	2		2		○		
専門教 育科目	学部共通科目	21世紀 の国際 社会を みる視 点	1	2			○		
		国際社 会基礎 ゼミ ナール I	2	2				○	
		国際社 会基礎 ゼミ ナール II	2	2				○	
		国際社 会ゼミ ナール I	3	2				○	
		国際社	3	2				○	

			会ゼミ ナール Ⅱ								
			国際社 会ゼミ ナール Ⅲ	4	2				○		
			国際社 会ゼミ ナール Ⅳ	4	2				○		
			グロー バル・ スタ ディー ズ入門	1・2		2			○		【初 級】こ こから 4単位 以上を 選択
			アメリ カ入門	1・2		2			○		
			カナダ 入門	1・2		2			○		
専門教 育科目	学科専 門科目	グロー バル・ スタ ディー ズ科目 群	ヨー ロッパ・ EU 入門	1・2		2			○		
			北東ア ジア入 門A	1・2		2			○		
			北東ア ジア入 門B	1・2		2			○		
			東南ア ジア入 門	1・2		2			○		
			中東入 門	1・2		2			○		

		オセア ニア入 門	1・2		2		○			
		ラテン アメリ カ入門	1・2		2		○			
		アフリ カ入門	1・2		2		○			
		現代の アメリ カ	1・2・ 3		2		○			【中 級】こ こから 4単位 以上を 選択
		現代の カナダ	1・2・ 3		2		○			
		現代の ヨ ー ロ ッ パ・EU	1・2・ 3		2		○			
		現代の 北東ア ジアA	1・2・ 3		2		○			
		現代の 北東ア ジアB	1・2・ 3		2		○			
		現代の 東南ア ジア	1・2・ 3		2		○			
		現代の 中東	1・2・ 3		2		○			
		現代の オセア ニア	1・2・ 3		2		○			
		現代の ラテン アメリ カ	1・2・ 3		2		○			
		現代の	1・2・		2		○			

			アフリ カ	3							
			外国語 文献で 学ぶ現 代世界 A	2・3・ 4		2		○			【上 級】 「注」
			外国語 文献で 学ぶ現 代世界 B	2・3・ 4		2		○			
			外国語 文献で 学ぶ現 代世界 C	2・3・ 4		2		○			
			外国語 文献で 学ぶ現 代世界 D	2・3・ 4		2		○			
			ワーク シヨッ プA	2・3・ 4		2			○		
			ワーク シヨッ プB	2・3・ 4		2			○		
			ワーク シヨッ プC	2・3・ 4		2			○		
			ワーク シヨッ プD	2・3・ 4		2			○		
			ワーク シヨッ	2・3・ 4		2			○		

			ブE							
			Advanced English for Global Studies	2・3・4		2		○		
			Topics in Global Studies A	2・3・4		2		○		
			Topics in Global Studies B	2・3・4		2		○		
			グローバル・スタディーズ特別講義	2・3・4		2		○		
		異文化理解科目群	異文化間コミュニケーション入門	1・2		2		○		【初級】ここから2単位以上を選択
			言語と文化とコミュニケーション	1・2		2		○		
			文化人	1・2		2		○		

		類学								
		異文化 トレー ニング	2・3		2		○			【中 級】こ こから 2単位 以上を 選択
		コミュ ニケー ション 論	2・3		2		○			
		比較文 化論	2・3		2		○			
		グロー バ リ ゼー ション と文化	2・3		2		○			
		多文化 社会論	2・3		2		○			
		グロー バル時 代のコ ミュニ ケー ション	2・3・ 4		2		○			【上 級】 「注」
		宗教と 国際社 会	2・3・ 4		2		○			
		Advan ced Englis h for Interc ultura l Under standi ng	2・3・ 4		2		○			

			Topics in Interc ultura l Under standi ng	2・3・ 4		2		○			
			異文化 理解特 別講義	2・3・ 4		2		○			
専門教 育科目	学科専 門科目	国際日 本研究 科目群	日本文 化入門 A	1・2		2		○			【初 級】こ こから 2単位 以上を 選択
			日本文 化入門 B	1・2		2		○			
			日本語 教育法 A I	1・2		2		○			
			日本語 教育法 A II	1・2		2		○			
			英語で 紹介す る日本 A	1・2		2		○			
			英語で 紹介す る日本 B	1・2		2		○			
			日本文 化A	2・3		2		○			【中 級】こ こから 2単位 以上を
			日本文 化B	2・3		2		○			
			ポップ	2・3		2		○			

			カ ル チ ャ ー 論								選択
			日 本 語 教 育 法 B I	2・3		2		○			
			日 本 語 教 育 法 B II	2・3		2		○			
			日 本 語 教 育 法 C I	2・3		2		○			
			日 本 語 教 育 法 C II	2・3		2		○			
			現 代 日 本 社 会	2・3・ 4		2		○			【上 級】
			ビ ジ ュ ー ル 文 化 論	2・3・ 4		2		○			「注」
			日 本 語 教 育 法 D I	2・3・ 4		2		○			
			日 本 語 教 育 法 D II	2・3・ 4		2		○			
			日 本 語 教 育 法 E I	2・3・ 4		2		○			
			日 本 語 教 育 法 E II	2・3・ 4		2		○			
			Ad van ced Eng lis h for	2・3・ 4		2		○			

			Japan Studies								
			Topics in Japan Studies A	2・3・4		2		○			
			Topics in Japan Studies B	2・3・4		2		○			
			国際日本研究特別講義	2・3・4		2		○			
	英語関連科目群	英語の世界	1・2		2		○			【初級】ここから2単位以上を選択	
英語学概論A		1・2		2		○					
英語学概論B		1・2		2		○					
英語文学入門A		1・2		2		○					
英語文学入門B		1・2		2		○					
English Basics		1・2		2		○					
English as an Intern		2・3		2		○			【中級】ここから4単位		

			ationa l Langu age							以上を 選択
			英語で 学ぶ言 語文化 A	2・3		2		○		
			英語で 学ぶ言 語文化 B	2・3		2		○		
			英語文 学の表 現と文 化A I	2・3		2		○		
			英語文 学の表 現と文 化A II	2・3		2		○		
			英語文 学の表 現と文 化B I	2・3		2		○		
			英語文 学の表 現と文 化B II	2・3		2		○		
			第二言 語習得 概論 I	2・3		2		○		
			第二言 語習得 概論 II	2・3		2		○		
			日英語 比較対	2・3・ 4		2		○		【上 級】

			Learni ng II								
専門教 育科目	学科専 門科目		通訳ト レーニ ング I	2・3・ 4		2		○			
			通訳ト レーニ ング II	2・3・ 4		2		○			
			翻訳ト レーニ ング I	2・3・ 4		2		○			
			翻訳ト レーニ ング II	2・3・ 4		2		○			
			英語科 教育法 I	3		2		○			
			英語科 教育法 II	3		2		○			
			英語科 教育法 III	3		2			○		
			英語科 教育法 IV	3		2			○		
			Educa tion in the World I	2・3・ 4		2		○			
			Educa tion in the World II	2・3・ 4		2		○			

			英語関連特別講義	2・3・4		2		○			
		留学関連科目群	English for Study Abroad A	1・2		2		○			【初級】
			English for Study Abroad B	1・2		2		○			
		留学準備講座	留学準備講座	2・3		2		○			【中級】
			海外研修A	2・3・4		2		○			
			海外研修B	2・3・4		2		○			
			海外研修C	2・3・4		2		○			

注：グローバル・スタディーズ科目群、異文化理解科目群、国際日本研究科目群、英語関連科目群の上級科目を合わせたうちから10単位以上を選択

別表3—(1)

保育士資格課程科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	
保育士資格課程科目	保育教育原理	1	2			○			
	教育思想史	1	2			○			
	子ども家庭福	1	2			○			

		社							
		社会福祉	1	2					○
		子ども家庭支援論	2	2					○
		社会的養護Ⅰ	2	2					○
		保育者論	1	2					○
		子どもの心理と発達Ⅰ	2	2					○
		子どもの心理と発達Ⅱ	2	2					○
		子ども家庭支援の心理学	3	2					○
		子どもの保健	2	2					○
		子どもの食と栄養	2	2					○
		保育・教育課程論	4	2					○
		保育内容総論	1	2					○
		保育内容各論(健康)	2	2					○
		保育内	1	2					○

		容各論 (人間関係)							
		保育内容各論 (環境)	1	2				○	
		保育内容各論 (言葉)	2	2				○	
		保育内容各論 (表現)	2	2				○	
		乳児保育Ⅰ	2	2			○		
		乳児保育Ⅱ	3	2				○	
		子どもの健康と安全	2	2				○	
		特別支援保育論	3	2				○	
		社会的養護Ⅱ	3	2				○	
		子育て支援	3	2				○	
		保育内容(健康)の指導法	3	2				○	
		保育内容(人間関係)の指導法	2	2				○	
		保育内容(環	2	2				○	

	境)の指 導法								
	保 育 内 容 (言 葉)の指 導法	3	2				○		
	保 育 内 容(音楽 表現)の 指導法	3	2				○		
	保 育 内 容(造形 表現)の 指導法	3	2				○		
	保 育 内 容(身体 表現)の 指導法	3	2				○		
	保 育 実 習 I A(保 育 所)	2	2					○	
	保 育 実 習 I B(施設)	3	2					○	
	保 育 実 習 指 導 I A	2	1				○		
	保 育 実 習 指 導 I B	2	1				○		
	保 育・教 職 実 践 演 習(幼 稚 園)	4	2				○		
	合計		72						

(注) 告示により指定された科目はすべての系列にわたり全科目必修で51単位であるが、
本学では上表のとおり72単位を履修すること

科目区分			授業 科目 の 名 称	配当 年次	単位数			授業形態			備考	
					必修	選択	自由	講義	演習	実習		
保育 士資 格課 程科 目	選択 必修 科目	保育 の本 質・目 的に 関す る科 目	子 どもと 国 際 社会	3		2		○			こ の う ち か ら 6 単 位 を 選 択	
			世 界の 子 ども 福祉	3		2		○				
			子 ども の 感 性 と 表 現	3		2		○				
	保育 の対 象の 理解 に関 する 科目	教 育 社 会 学	2		2		○					
		子 ども の 臨 床 心 理 学	3		2		○					
		子 ども と 国 際 (フィ ール ド ワー クA)	3		2			○				

			子ども感性 (フィールド ワークB)	3		2			○			
			子ども心理 (フィールド ワークC)	3		2			○			
	保育 の内 容・方 法に 関す る科 目	Spea king Engli sh with Child ren	3		2		○					
		ソー シヤ ル ワー クと 心理 学	3		2		○					
		子ども サイ エン ス	3		2		○					
		子ども	3		2		○					

			も と 文 化								
			キ リ ス ト 教 保 育	4		2		○			
			保 育 実 習 Ⅱ (保 育 所)	4		2			○		保 育 実 習 Ⅱ 及 び 保 育 実 習 指 導 Ⅱ 又 は 保 育 実 習 Ⅲ 及 び 保 育 実 習 指 導 Ⅲ を 選 択
			保 育 実 習 指 導 Ⅱ	4		1		○			
			保 育 実 習 Ⅲ (施 設)	4		2			○		
			保 育 実 習 指 導 Ⅲ	4		1		○			
		合計				32					

(注) 本学では上表のとおり9単位を選択履修すること

(注) 上表のほかに、全学共通科目において「健康科学(講義・実技)」2単位を履修すること

別表3—(2)

幼稚園教諭1種免許課程科目

—幼稚園教諭1種免許課程履修者—

授業科目			配当年 次	単位数			授業形態			備考
区分	分野・系	名称		必修	選択	自由	講義	演習	実習	
領域及 び保育	領域に 関する	保 育 内 容 各 論	2	2				○		

内容の 指導法 に関する科目	専門的 事項	(健康)							
		保育内 容各論 (人間関 係)	1	2				○	
		保育内 容各論 (環境)	1	2				○	
		保育内 容各論 (言葉)	2	2				○	
		保育内 容各論 (表現)	2	2				○	
		合計		10					
	保育内 容の指 導法	保育内 容(健 康)の指 導法	3	2				○	
		保育内 容(人間 関係)の 指導法	2	2				○	
		保育内 容(環 境)の指 導法	2	2				○	
		保育内 容(言 葉)の指 導法	3	2				○	
保育内 容(音楽 表現)の 指導法		3	2				○		
保育内		3	2				○		

		容(造形表現)の指導法							
		保育内容(身体表現)の指導法	3	2			○		
		合計		14					
大学が独自に設定する科目		保育の基礎技能	1	2			○		
		子ども家庭福祉	1	2			○		
		合計		4					
教育の基礎理解に関する科目		教育思想史	1	2			○		
		保育教育原理	1	2			○		
		保育者論	1	2			○		
		教育社会学	2	2			○		
		子どもの心理と発達Ⅰ	2	2			○		
		子どもの心理と発達Ⅱ	2	2			○		
		特別支援保育論	3	2			○		
		保育・教育課程	4	2			○		

	論								
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目	幼児の理解と教育の方法	2	2			○			
	教育相談	3	2			○			
教育実践に関する科目	教育実習指導Ⅰ	3	1				○		
	教育実習指導Ⅱ	4	1				○		
	教育実習Ⅰ	3	2					○	
	教育実習Ⅱ	4	2					○	
	保育・教職実践演習(幼稚園)	4	2				○		
	合計		28						

(注) 上表の科目のほかに、全学共通科目において、「日本国憲法」2単位、「健康科学(講義・実技)」2単位、「Sophomore English A I・II、B I・II」4単位、「基礎情報科学 I・II」2単位を履修すること。

別表3—(3)

中学校教諭1種(社会)免許課程科目(人間科学科適用)

高等学校教諭1種(公民)免許課程科目(人間科学科適用)

授業科目			配当年次	単位数				授業形態			備考
区分	分野・系	名称		中学		高等学校		講義	演習	実習	
				必修	選択	必修	選択				
中学校教諭1	教科及び教科	日本史概説	1・2	2				○			

種(社会)免許課程科目・高等学校教諭1種(公民)免許課程科目	の指導法に関する科目	外国史概説	1・2	2				○			
		人文地理学	1・2	2				○			
		自然地理学	1・2	2				○			
		グローバル・スタディーズ入門	1		2			○			
		世界地誌	1・2	2				○			
		法学	1・2	2		2		○			
		政治学	2・3		2		2	○			
		政治思想	2・3		2		2	○			
		比較政治社会学	2・3		2		2	○			
		社会調査演習Ⅰ	3・4		2		2		○		
		社会調査演習Ⅱ	3・4		2		2		○		
		社会調査法	2・3		2		2	○			
		ジェンダーと現代社会	2・3		2		2	○			
		家族と社会	2・3		2		2	○			
		家族関係論	2・3		2		2	○			

	文化人類学	1・2・3		2		2	○		
	精神保健福祉論	2・3・4		2		2	○		
	医療福祉論	2・3・4		2		2	○		
	学校の社会学	3・4		2		2	○		
	データで読む教育・家族	2・3		2		2		○	
	哲学概論	2・3	2		2		○		
	進化からみた人間	2・3		2		2	○		
	生命倫理	2・3		2		2	○		
	文献研究演習	3・4		2		2		○	
	死生学	3・4		2		2	○		
	科学と宗教	2・3		2		2	○		
	宗教思想史	2・3		2		2	○		
	臨床死生学	3・4		2		2	○		
	神話と物語B	2・3		2		2	○		
	発達心理学	1・2・3・4				2	○		
	メディア心理学	2・3・4				2	○		

	社会・ 集団・ 家族心 理学	2・3・ 4				2	○			
	認知心 理学	2・3・ 4				2	○			
	対人社 会心理 学	1・2・ 3・4				2	○			
	臨床心 理学概 論	1・2・ 3・4				2	○			
	夢・イ メージ の深層	2・3・ 4				2	○			
	芸術と 臨床心 理学	2・3・ 4				2	○			
	親子の 臨床心 理学	2・3・ 4				2	○			
	司法・ 犯罪心 理学	2・3・ 4				2	○			
	社会 科・地 歴科教 育法Ⅰ	3	2				○			
	社会 科・地 歴科教 育法Ⅱ	3	2					○		
	社会 科・公 民科教 育法Ⅰ	3	2		2		○			

		社会 科・公 民科教 育法Ⅱ	3	2		2			○		
--	--	-------------------------	---	---	--	---	--	--	---	--	--

中学校教諭1種(社会)免許課程科目(国際社会学科適用)

高等学校教諭1種(地歴)免許課程科目(国際社会学科適用)

高等学校教諭1種(公民)免許課程科目(国際社会学科適用)

授業科目			配当年 次	単位数				授業形態			備 考	
区 分	分 野 ・ 系	名称		中学		高等学校		講義	演習	実習		
				必修	選択	必修	選択					
中 学 校 教 諭 1 種 (社 会) 免 許 課 程 科 目 ・ 高 等 学 校	教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	日 本 史 概 説	1・2	2		2		○				
		日 本 政 治 外 交 史 Ⅰ	2・3		2		2		○			
		日 本 政 治 外 交 史 Ⅱ	2・3		2		2		○			
		経	1・2		2		2		○			

教 諭 1 種 (地 歴) 免 許 課 程 科 目	済 史									
	外 国 史 概 説	1・2	2		2		○			
	国 際 関 係 史	1・2		2		2	○			
	人 文 地 理 学	1・2	2		2		○			
	自 然 地 理 学	1・2	2		2		○			
	グ ロ ー バ ル ・ ス タ デ ィ ー ズ 入 門	1		2		2	○			

	アメリカ入門	1		2		2	○		
	ヨーロッパ・EU入門	1		2		2	○		
	現代のヨーロッパ・EU	1・2・3		2		2	○		
	北東アジア入門A	1		2		2	○		
	東	1		2		2	○		

		南 ア ジ ア 入 門								
	現 代 の 北 東 ア ジ ア A	1・2・3		2		2	○			
	現 代 の 東 南 ア ジ ア	1・2・3		2		2	○			
	中 東 入 門	1		2		2	○			
	現 代 の 中 東	1・2・3		2		2	○			
	ラ テ ン ア	1		2		2	○			

	メ リ カ 入 門									
	現 代 の ラ テ ン ア メ リ カ	1・2・3		2		2	○			
	ア フ リ カ 入 門	1		2		2	○			
	現 代 の ア フ リ カ	1・2・3		2		2	○			
	オ セ ア ニ ア 入 門	1		2		2	○			
	現	1・2・3		2		2	○			

		代 の オ セ ア ニ ア								
		世 界 地 誌	1・2	2		2		○		
		社 会 科 ・ 地 歴 科 教 育 法 I	3	2		2		○		
		社 会 科 ・ 地 歴 科 教 育 法 II	3	2		2			○	
中 学 校	教 科 及 政	法 学	1・2	2		2		○		
		政	2・3		2		2	○		

教諭 1種 (社会) 免許 課程 科目・高 等学 校教諭 1種 (公民) 免許 課程 科目	び 教	治 学								
	科 の 指 導 思 想	政 治 思 想	2・3		2		2	○		
	法 に 関 す る 科 目	外 交 論	2・3・4		2		2	○		
		比 較 政 治 社 会 学	2・3		2		2	○		
		国 際 関 係 論 I	2・3		2		2	○		
		国 際 関 係 論 II	2・3		2		2	○		
		国 際 安 全 保 障 論	2・3・4		2		2	○		
		国	3・4		2		2		○	

	際 情 勢 分 析 セ ミ ナ ー									
	紛 争 解 決 論	2・3・4		2		2	○			
	国 際 機 構 論	2・3		2		2	○			
	公 共 経 済 論	2・3・4		2		2	○			
	マ ク ロ 経 済 学	2・3	2		2		○			
	ミ ク ロ 経 済 学	2・3	2		2		○			

	国 際 政 治 経 済 論	2・3・4		2		2	○			
	国 際 経 済 論	2・3		2		2	○			
	地 球 規 模 問 題	2・3・4		2		2	○			
	フ ィ ー ル ド 調 査 法	2・3・4		2		2		○		
	哲 学 概 論	2・3	2		2		○			
	政 治 心 理 学	2・3				2	○			
	メ	2・3				2	○			

		デ イ ア 心 理 学								
		社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法 I	3	2		2		○		
		社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法 II	3	2		2		○		

中学校教諭1種(英語)免許課程科目(国際コミュニケーション学科適用)

高等学校教諭1種(英語)免許課程科目(国際コミュニケーション学科適用)

授業科目			配当 年次	単位数				授業形態			備考
区分	分野・系	名称		中学		高等学校		講義	演習	実習	
				必修	選択	必修	選択				
中学 校教 諭	教科 及び	英 語 学 概	1・2		2		2		○		

論1種 (英語) 免許 課程 科 目・高 等学 校教 諭1種 (英語) 免許 課程 科目	教科 の指 導法 に関 する 科目	論A								
		英 語 学 概 論B	1・2		2		2	○		
		英 語 文 学 入門A	1・2	2		2		○		
		英 語 文 学 入門B	1・2		2		2	○		
		英 語 文 学 の 表 現 と 文化A I	2・3		2		2	○		
		英 語 文 学 の 表 現 と 文化A II	2・3		2		2	○		
		英 語 文 学 の 表 現 と 文化B I	2・3		2		2	○		
		英 語 文 学 の 表 現 と 文化B II	2・3		2		2	○		
		英 語 文 学	2・3・4		2		2	○		

	の表 現と 文化C									
	Engli sh Basic s	1・2	2		2		○			
	Engli sh for Study Abroa d A	1・2		2		2	○			
	Engli sh for Study Abroa d B	1・2		2		2	○			
	Adva nced Engli sh Com muni catio n A	2・3・4		2		2	○			
	Engli sh for Integ rated Learn ing I	2・3・4	2		2		○			
	Engli sh for Integ rated	2・3・4		2		2	○			

	Learn ing II								
	Engli sh as an Inter natio nal Lang uage	2・3	2		2		○		
	Topic s in Interc ultur al Unde rstan ding	2・3・4		2		2	○		
	Adva nced Engli sh for Interc ultur al Unde rstan ding	2・3・4		2		2	○		
	言 語 と 文 化 と コ ミ ュ ニ ケ ー	1・2		2		2	○		

		シ ョ ン								
		Educ ation in the World I	2・3・4	2		2		○		
		Educ ation in the World II	2・3・4		2		2	○		
		第 二 言 語 習 得 概 論 I	2・3		2		2	○		
		第 二 言 語 習 得 概 論 II	2・3		2		2	○		
		英 語 科 教 育 法 I	3	2		2		○		
		英 語 科 教 育 法 II	3	2				○		
		英 語 科 教 育 法 III	3	2		2			○	
		英 語 科 教	3	2					○	

		育 法 IV									
--	--	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

中学校教諭1種(社会)免許課程科目(人間科学科適用)

高等学校教諭1種(公民)免許課程科目(人間科学科適用)

授業科目			配当年 次	単位数				授業形態			備考
区分	分野・ 系	名称		中学		高等学校		講義	演習	実習	
				必修	選択	必修	選択				
中学校 教諭1 種(社 会)免 許課程 科目・ 高等学 校教諭 1種(公 民)免 許課程 科目	大学が 独自に 設定す る科目	生活の なかの 図書館	1・2・ 3・4		2		2	○			

中学校教諭1種(社会)免許課程科目(国際社会学科適用)

高等学校教諭1種(地歴)免許課程科目(国際社会学科適用)

高等学校教諭1種(公民)免許課程科目(国際社会学科適用)

授業科目			配当年 次	単位数				授業形態			備考
区分	分野・ 系	名称		中学		高等学校		講義	演習	実習	
				必修	選択	必修	選択				
中学校 教諭1 種(社 会)免 許課程 科目・ 高等学 校教諭	大学が 独自に 設定す る科目										

1種(公民・地歴)免許課程科目											
-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

中学校教諭1種(英語)免許課程科目(国際コミュニケーション学科適用)

高等学校教諭1種(英語)免許課程科目(国際コミュニケーション学科適用)

授業科目			配当年次	単位数				授業形態			備考
区分	分野・系	名称		中学		高等学校		講義	演習	実習	
				必修	選択	必修	選択				
中学校教諭1種(英語)免許課程科目・高等学校教諭1種(英語)免許課程科目	大学が独自に設定する科目	海外英語実習A	1		2		2			○	
		海外研修C	2・3・4		2		2	○			
		英語で紹介する日本A	1・2		2		2	○			
		英語で紹介する日本B	1・2		2		2	○			

中学校教諭1種(社会)免許課程科目(人間科学科・国際社会学科適用)

中学校教諭1種(英語)免許課程科目(国際コミュニケーション学科適用)

高等学校教諭1種(公民)免許課程科目(人間科学科・国際社会学科適用)

高等学校教諭1種(地歴)免許課程科目(国際社会学科適用)

高等学校教諭1種(英語)免許課程科目(国際コミュニケーション学科適用)

授業科目			配当年次	単位数				授業形態			備考
区分	分野・系	名称		中学		高等学校		講義	演習	実習	
				必修	選択	必修	選択				
中学校	教育	教育学	1	2		2		○			

教諭1種(社会・英語)免許課程科目・高等学校教諭1種(公民・地歴・英語)免許課程科目	の基礎理解に関する科目	概論 I									
		教職の理解	2	2		2		○			
		教育社会学	2・3	2		2		○			
		教育心理学	2・3	2		2		○			
		特別支援教育	3	2		2		○			
	道徳、総合的な学習の時間の指導及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育課程論	2・3・4	2		2		○			
		道徳教育の理論と実践	2・3	2				○			
		特別活動と総合的な学習の時間	2・3・4	2		2		○			
		教育の方法と技術	2・3・4	2		2		○			
		生徒・進路指導の理論と方法	2・3・4	2		2		○			
		教育相談	3・4	2		2		○			
		教育実践に関する科目	教育実習 I	4	1		1				○
	教育実習 II		4	2		2				○	
	教育実習 III		4	2						○	

		教職実践演習 (中・高)	4	2		2			○		
--	--	-----------------	---	---	--	---	--	--	---	--	--

別表3—(4)

学芸員資格課程科目

科目区分	分野・系	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実習	
学芸員課程科目	必修科目	博物館概論	2・3	2			○			
		博物館資料論	2・3	2			○			
		博物館資料保存論	2・3	2			○			
		博物館教育論	2・3	2			○			
		生涯学習概論	2・3・4	2			○			
		博物館情報・メディア論	2・3・4	2			○			
		博物館経	2・3	2			○			

		営論								
		博物館展示論	2・3	2			○			
		博物館実習Ⅰ	3・4	1					○	
		博物館実習Ⅱ	3・4	2					○	
その他関連科目(選択科目)	文化史	アメリカ入門	1		2		○			◇ 文化史、美術史、民俗学、自然科学史の4系列からそれぞれ1科目以上取得することが必要である。
		カナダ入門	1		2		○			
		ヨーロッパ・EU入門	1		2		○			
		日本文化入門A	1		2		○			
		日本文化入門B	1		2		○			
		北東アジア入門A	1		2		○			
		東南アジア入門	1		2		○			
		北東	1		2		○			

			ア ジ ア 入 門B							
			オ セ ア ニ ア 入 門	1		2		○		
			中 東 入 門	1		2		○		
			ラ テ ン ア メ リ カ 入 門	1		2		○		
			ア フ リ カ 入 門	1		2		○		
			グ ロ ー バ リ ゼ ー シ ョ ン と 文 化	2・3		2		○		
			日 本 史 概 説	1・2		2		○		
			外 国 史 概 説	1・2		2		○		
			人 文 地 理 学	1・2		2		○		
		美術 史	芸 術 の 理 解A	2・3		2		○		

			芸術 の理 解B	2・3		2		○		
		民俗 学	文化 人類 学	1		2		○		
			古典 語A	2・3・ 4		2			○	
			古典 語B	2・3・ 4		2			○	
			古典 語C	2・3・ 4		2			○	
			古典 語D	2・3・ 4		2			○	
			自然 科学 史	進化 から みた 人間	2・3		2		○	
		人間 と自 然環 境		2・3		2		○		

別表3—(5)

日本語教育課程科目

科目 区分	分野・系	授業 科目 の 名 称	配当 年次	単位数			授業形態			備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実習	
日本語教育課 程科目	必修科目	日本 語教 育法A I	1・2	2			○			◇ 日 本語 教育 法 D は、日
		日本	1・2	2			○			

		語 教 育法A II								本 語 教 育 法Bを 履 修 済み、 又 は 同 時 履 修 す る 場 合 の み 履 修 可 ◇ 課 程 を 修 了 す る に は 必 修 科 目 の 成 績 の 平 均 が 「良」 以 上 (GPA 換 算 で 2.0 以 上) で な く て は な ら ない
		日 本 語 教 育法B I	2・3	2			○			
		日 本 語 教 育法B II	2・3	2			○			
		日 本 語 教 育法C I	2・3	2			○			
		日 本 語 教 育法C II	2・3	2			○			
		日 本 語 教 育法D I	2・3・ 4	2			○			
		日 本 語 教 育法D II	2・3・ 4	2			○			
		日 本 語 教 育法E I	2・3・ 4	2			○			
		日 本 語 教 育法E II	2・3・ 4	2			○			
	選 択	日 本	日 本	1・2		2		○		◇

必修 科目	文 化・社 会	史概 説							選 択 必 修 科 目 か ら 26 単 位 を 選 択 こ う の う ち か ら 8 単 位 以 上 を 選 択
		英 語 で 紹 介 す る 日 本A	1・2		2		○		
		英 語 で 紹 介 す る 日 本B	1・2		2		○		
		日 本 文 化 入 門A	1・2		2		○		
		日 本 文 化 入 門B	1・2		2		○		
		日 本 文 化 A	2・3		2		○		
		日 本 文 化 B	2・3		2		○		
		日 本 文 化 論	2・3		2		○		
		ポ ッ プ カ ル チ ャ ー 論	2・3		2		○		
		現 代 日 本 社 会	2・3・ 4		2		○		
		ビ ジ ュ ア ル	2・3・ 4		2		○		

			文化論							
			Topics in Japanese Studies A	2・3・4		2		○		
			Topics in Japanese Studies B	2・3・4		2		○		
			国際日本研究特別講義	2・3・4		2		○		
	異文化理解	異文化間コミュニケーション入門	1・2		2			○		このうちから8単位以上を選択
		言語と文化とコミュニケーション	1・2		2			○		

			ン						
			異文化 トレーニング ング	2・3		2		○	
			コミュニ ケーション ン論	2・3		2		○	
			比較 文化 論	2・3		2		○	
			グロー バリゼ ーション と 文化	2・3		2		○	
			多文化 社会論	2・3		2		○	
			グロー バル 時代の コミュニ ケーション ン	2・3・ 4		2		○	
			宗教	2・3・		2		○	

			と 国 際 社 会	4							
			Topic s in Interc ultur al Unde rstan ding	2・3・ 4		2		○			
			異 文 化 理 解 特 別 講 義	2・3・ 4		2		○			
		その 他	教 育 学 概 論 I	1		2		○			
			教 育 学 概 論 II	1		2		○			
			教 育 心 理 学	2・3		2		○			
			教 育 社 会 学	2・3		2		○			

別表3—(6)

司書資格課程科目

科目区 分	分野・系	授業科 目の名 称	配当年 次	単位数			授業形態			備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実習	

司書課程科目	甲群 (必修科目)	生涯学習概論	2・3・4	2			○		
		生活のなかの図書館	1・2・3・4	2			○		
		図書館情報技術論	2・3・4	2			○		
		図書館制度・経営論	3・4	2			○		
		生涯学習社会と図書館サービス	2・3・4	2			○		
		情報サービス論	3・4	2			○		
		情報資源組織論	3・4	2			○		
		情報資源組織演習Ⅰ	3・4	1				○	
		情報資源組織演習Ⅱ	3・4	1				○	
		子どもの読書支援	3・4	2			○		
		情報サービス演習Ⅰ	3・4	1				○	
		情報サービス演習Ⅱ	3・4	1				○	
		図書館情報資源概論	2・3・4	2			○		
	乙群 (選択科目)	図書館の比較文化論	2・3・4		2		○		
		図書・図書館史	1・2・3・4		2		○		
		図書館情報資源特論	2・3・4		2		○		
		メディア演習A	2・3・4		2			○	

(注) 甲群は全科目必修、乙群(選択科目)から2科目4単位を選択必修すること。

別表4

- ・卒業に必要な単位数

- ・人間科学部

(1) 人間科学科心理科学専攻

		単位	内訳	備考
全学共通科目		34	必修 24 選択必修 2 選択 8	
専門教育科目	学部共通科目	18	必修 14 選択必修 4	
	学科基礎科目	6	必修 6	
	学科専門科目	48	必修 14 選択必修 14 選択 20	
自由選択科目		18	<ul style="list-style-type: none"> ・全学共通科目、専門教育科目(他学部・他学科・他専攻を含む。)、単位互換科目、その他認定科目から選択。 ・資格課程科目から12単位まで自由選択科目の単位に算入することができる。 	
計		124		

(2) 人間科学科教育・人間学専攻

		単位	内訳	備考
全学共通科目		36	必修 26 選択必修 2 選択 8	
専門教育科目	学部共通科目	18	必修 14 選択必修 4	
	学科基礎科目	6	必修 6	
	学科専門科目	49	必修 14 選択必修 15 選択 20	
自由選択科目		15	<ul style="list-style-type: none"> ・全学共通科目、専門教育科目(他学部・他学科・他専攻を含む。)、単位互換科目、その他認定科目から選択。 	

		・資格課程科目から12単位まで自由選択科目の単位に算入することができる。
計	124	

(3) 保育子ども学科

		単位	内訳	備考
全学共通科目		22	必修 22	
専門教育科目	学部共通科目	10	必修 10	
	学科基礎科目	6	必修 4 選択必修 2	
	学科専門科目	58	必修 38 選択必修 6 選択 14	
自由選択科目		28	・全学共通科目、専門教育科目(他学部・他学科を含む。)、単位互換科目、その他認定科目から選択。 ・資格課程科目から12単位まで自由選択科目の単位に算入することができる。	
計		124		

・国際社会学部

(1) 国際社会学科

		単位	内訳	備考
全学共通科目		38	必修 24 選択必修 8 選択 6	
専門教育科目	学部共通科目	14	選択必修 14	
	学科専門科目	54	必修 4 選択 50	
自由選択科目		18	・全学共通科目、専門教育科目(他学部・他学科を含む。)、単位互換科目、その他認定科目から選択。	

		<ul style="list-style-type: none"> ・資格課程科目から最大12単位まで自由選択科目の単位に算入することができる。 ・各種技能検定試験に合格し認定された単位を最大4単位まで自由選択科目の単位に算入することができる。
計	124	

(2) 国際コミュニケーション学科

		単位	内訳	備考
全学共通科目		38	必修 24 選択必修 8 選択 6	
専門教育科目	学部共通科目	14	必修 14	
	学科専門科目	54	選択必修 32 選択 22	
自由選択科目		18	<ul style="list-style-type: none"> ・全学共通科目、専門教育科目(他学部・他学科を含む。)、単位互換科目、その他認定科目から選択。 ・資格課程科目から最大12単位まで自由選択科目の単位に算入することができる。 ・各種技能検定試験に合格し認定された単位を最大4単位まで自由選択科目の単位に算入することができる。 	
計		124		

学則の変更事項を記載した書類

○変更の事由

令和7年4月の人間科学部人間科学科、保育子ども学科、国際社会学部国際社会学科及び国際コミュニケーション学科の入学定員及び収容定員の変更に伴い、学則の改正を行う。

○変更点

学則 第7条 (学部、学科及び学生定員)

○変更の時期

令和7年4月1日

東洋英和女学院大学学則新旧対照表

(新)	(旧)
<p>第1条から第6条まで 省略</p> <p>(学部、学科及び学生定員)</p> <p>第7条 本学に次の学部及び学科を置き、その学生定員は、次のとおりとする。</p> <p>人間科学部</p> <p>人間科学科 入学定員 <u>110</u>名 収容定員 <u>440</u>名</p> <p>保育子ども学科 入学定員 <u>70</u>名 収容定員 <u>280</u>名</p> <p>国際社会学部</p> <p>国際社会学科 入学定員 <u>60</u>名 収容定員 <u>240</u>名</p> <p>国際コミュニケーション学科 入学定員 <u>60</u>名 収容定員 <u>240</u>名</p> <p>第8条以下、省略</p> <p><u>附 則(2024(令和6)年2月22日改正)</u> <u>この学則は、2025(令和7)年4月1日から施行する。</u></p>	<p>第1条から第6条まで 省略</p> <p>(学部、学科及び学生定員)</p> <p>第7条 本学に次の学部及び学科を置き、その学生定員は、次のとおりとする。</p> <p>人間科学部</p> <p>人間科学科 入学定員 <u>140</u>名 収容定員 <u>560</u>名</p> <p>保育子ども学科 入学定員 <u>100</u>名 収容定員 <u>400</u>名</p> <p>国際社会学部</p> <p>国際社会学科 入学定員 <u>120</u>名 収容定員 <u>480</u>名</p> <p>国際コミュニケーション学科 入学定員 <u>120</u>名 収容定員 <u>480</u>名</p> <p>第8条以下、省略</p> <p>追加</p>

目次

学則の変更の趣旨を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容	p. 2
イ 学則変更（収容定員変更）の必要性	p. 2
ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	p. 2

学則の変更の趣旨を記載した書類

ア 学則変更（収容定員の変更）の内容

令和 6(2024)年度募集より人間科学部人間科学科の入学定員を現行140名から30名削減し110名へ、保育子ども学科を現行100名から30名削減して70名へ、国際社会学部国際社会学科を現行120名から60名削減して60名へ、国際コミュニケーション学科を現行120名から60名削減して60名へ、それぞれ変更する。

イ 学則変更（収容定員の変更）の内容

本学は、令和2（2020）年度に、全ての学科で定員割れとなった。18歳人口の減少といった日本全体の変化や受験生の都心・共学志向の影響、加えて新型コロナウイルス感染症の影響などが原因と考えられる。本学では、入試広報活動の活性化や、指定校及び協定校の拡充などに加え、キャンパスへの交通アクセスにおける利便性向上のため、駅からシャトルバスを走らせる等を行ってきた。また、校内施設の美化を目的とした大規模修繕工事により、本学の最大の特徴ともいえるキャンパスの美化を図り、学生生活を豊かにするために努力してきた。

しかし、コロナ禍による受験生の首都圏回避、18歳人口のさらなる減少、社会現象化した共学志向の高まりもあって、令和3（2021）年度は、入学定員480名に対し入学者数426名（充足率88.7%）、令和4（2022）年度は、327名（68.1%）、令和5（2023）年度は、207名（43.1%）、そして、令和6（2024）年度に至っては、182名（37.9%）となった。本学全体の入学者数の減少の中で、特に国際社会学科（入学定員120名）、国際コミュニケーション学科（同120名）の充足率が低い。何れの学科も入学定員の削減をすることで、まず充足率の改善を図り、将来の学部改組等の足掛かりとしたい。

ウ 学則変更（収容定員の変更）に伴う教育課程などの変更内容

- (ア) 収容定員の変更を行っても、教育内容の変更はなく、教育課程の変更は行わない。
- (イ) 教育方法・履修指導については、変更はない。
- (ウ) 教員組織については、変更はない。
- (エ) 施設・設備については、変更はない。

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 収容定員を変更する組織の概要	p. 2
① 収容定員を変更する組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地）	p. 2
② 収容定員を変更する組織の特色	p. 2
(2) 人材需要の社会的な動向等	p. 3
① 収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析	p. 3
② 中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析	p. 4
③ 収容定員を変更する組織の主な学生募集地域	p. 4
④ 既設組織の定員充足の状況	p. 4
(3) 学生確保の見通し	p. 5
① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	p. 5
② 競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）	p. 7
③、④は該当なし	
⑤ 人材需要に関するアンケート調査等	p. 8
(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由	p. 9

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 収容定員を変更する組織の概要

① 収容定員を変更する組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地）

収容定員を変更する組織	入学定員	収容定員	所在地
東洋英和女学院大学 人間科学部人間科学科	110	440	神奈川県横浜市三保町32
東洋英和女学院大学 人間科学部保育子ども学科	70	280	
東洋英和女学院大学 国際社会学部国際社会学科	60	240	
東洋英和女学院大学 国際社会学部国際コミュニケーション学科	60	240	

② 収容定員を変更する組織の特色

人間科学部人間科学科

人間科学科は、心理学・社会学・教育学・宗教学を基礎にして、複雑でさまざまな側面を持つ人間のこころや行動について、総合的に理解することを目指し、人間についてのさまざまな学びにより、自己と他者への深い理解と洞察を身につけることで、社会的寛容性や共感性を高め、家庭・学校・地域・社会において積極的に貢献できる主体的な女性の育成を目的とする。人間についての基礎的な知識を踏まえ、確実な研究手法や分析力・語学力を身につけ、さまざまなテーマに学際的・多面的にアプローチしていくのが人間科学科の学びの特色である。

人間科学部保育子ども学科

保育子ども学科は、子どものためのケアと教育についての専門性を身につけた保育者養成を目指す。キリスト教学校の伝統と理念、幅広い教養教育による総合的な人間力を身につけ、保育の理念と実践に関する理論を学び、幼稚園教諭（1種免許）、保育士資格にふさわしい基礎技能や教育・保育方法と援助技術を確実に修得する。さらに、児童福祉に関する学びを通じて、子どもと家族を支援する家庭・地域・コミュニティ再形成の視点を培っていくことで、21世紀にふさわしい、幅広い視野と教養、豊かな専門性をもった幼児教育者・保育者の養成を目指す。

国際社会学部国際社会学科

国際社会学科は、不透明で変転極まりない現代の国際社会が抱える諸問題の本質と構造を理解し、その問題解決に向けた内外の課題に主体的に取り組み、社会貢献を志す女性の育成を目的としている。

このような広い視野と国際的な教養を備えた女性を育成するために、学問体系としては主として社会科学に依拠し、国際政治学・国際経済学・国際社会学といった学問領域を中心に学ぶ教育課

程を編成するとともに、グローバル化が進む中でメディア媒体による報道や情報網の重要性が認識されていることを踏まえ、メディアの現状と問題点を理解して実践的に取り組むための関連科目を置くことを特色としている。

国際社会学部国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科は、現代の国際社会の中で具体的な問題を深く認識し、その問題解決のために自ら実践的かつ積極的に行動し、社会貢献に携わる女性の育成を目的としている。

このような広い視野と国際的な教養を備えつつ国際領域で活躍できる人材を育成するため、学問体系としては主として社会科学に依拠しつつ、特定の国際地域研究の学問領域と海外に日本を紹介できるための日本文化研究の学問領域を中心に教育課程を編成しており、とくに専門知識に基づき、国際語としての英語の実践的な運用能力を養い、また留学体験を通じて国際社会のさまざまな諸相を理解するための学科目を置くことを特色としている。

(2) 人材需要の社会的な動向等

① 収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

人間科学部人間科学科

人間科学科は、人間についての幅広く多面的な知識とアプローチ、自他への思いやりを身につけた教養人の育成を目指しており、一般企業の総合職・一般職、学校、病院、企業などの心理カウンセラーや、各種企業の広報・企画・人事、さらにマスコミ・出版・公務員・中高教諭（社会・公民）など、卒業後は幅広い分野への需要へ対応できる人材を養成する。

人間科学部保育子ども学科

保育子ども学科は、人間についての幅広く多面的な知識、実践的省察力を身につけた保育者、地域のコミュニティ形成に寄与できる保育者の育成を目指しており、幼稚園教諭、保育士、障害児施設の教職員はもとより、各種企業の福利厚生担当、さらに幼児関連企業や公務員など、卒業後は幅広い分野への需要へ対応できる人材を養成する。

国際社会学部国際社会学科

国際社会学科は、現代社会が抱えるさまざまな問題について、社会科学の立場から、多面的・総合的にアプローチし、問題解決に主体的に取り組む教養人の育成を目指しており、NGO など国際機関職員、外資系企業、商社はもちろん、金融・保険業をはじめとする一般企業、さらにマスコミ・ジャーナリズム、国家・地方公務員、中高教員など、卒業後は幅広い分野への需要へ対応できる人材を養成する。

国際社会学部国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科は、高度な語学力、国際理解力、日本文化の発信力を有し、現代社会が抱えるさまざまな問題について、主体的に取り組む教養人の育成を目指しており、国際機関での職員、外資系企業、商社はもちろん、金融・保険業をはじめとする一般企業、さらにマスコ

ミ・ジャーナリズム、地方・国家公務員など、卒業後は幅広い分野への需要へ対応できる人材を養成する。

② 中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

令和 6（2024）年に 106.3 万人であった 18 歳人口は、令和 7（2025）年には 109.1 万人に増加する。その後は令和 8（2026）年に 109.3 万人となるが、令和 9（2027）年以降から減少が続き、令和 16（2034）年には 100.6 万人となる【資料 1】。

女子について見ると、全国的には令和 6（2024）年の 51.9 万人から令和 8（2026）年は 53.3 万人と増えるが、令和 9 年以降は減少となるが、本学入学者の多い南関東の地域で見ると、令和 6（2024）年は 140,565 人だが、それ以降はほぼ横這いの状態が続く。

また、令和 5（2023）年の南関東における女子の大学進学率は、平成 26（2014）年より 9.5 ポイント上昇しているため、今後も大学進学者は増えると予想される【資料 2】。

③ 収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

本学在学生の出身高校の所在地は、神奈川県と東京都が多くを占め、令和 5（2023）年度入学生における出身高校の所在地県別の構成比は、神奈川県が 43.0%、東京都が 35.7%となっている【資料 3】。

令和 5（2023）年度の学校基本調査の出身高校の所在地県別入学者数における神奈川県の構成比は、神奈川県が 37.8%、東京都が 21.7%、次いで千葉県が 4.7%と神奈川県と東京都の構成比が非常に高くなっている【添付データ_別紙 1】。これは本学入学者の構成比と一致し、神奈川県と東京都からの進学者が見込まれるものと予想することができる。

④ 既設組織の定員充足の状況

人間科学部人間科学科

人間科学科の直近 5 カ年の入学定員充足率の平均は 0.86 であり、改善を要する状況である【添付データ_別紙 2-1】。定員充足率においては、令和 3（2021）年度まで定員を充足していたが、令和 4（2022）年度より未充足が続いている【資料 4】。

日本私立学校振興・共済事業団発行の『私立大学・短期大学等入学志願動向』学部系統別の動向を見ると、人文科学系は全体的に定員充足率が減少しているが、主な学部別の志願者・入学者動向では心理分野は志願者数を伸ばしている。心理分野は、人間科学科の柱となっている系統であり、今後も志願者を伸ばすことが期待されるが、18 歳人口の減少と本学の現状をふまえ、令和 7（2025）年度から入学定員を 30 名減員のうえ 110 名とし、定員充足率の適正化を図ることとしたい。

人間科学部保育子ども学科

保育子ども学科の直近 5 カ年の入学定員充足率の平均は 0.78 であり、改善を要する状況である【添付データ_別紙 2-2】。定員充足率においては、平成 31（2019）年度まで定員を充足していたが、令和 2（2020）年度より未充足が続いている【資料 4】。

日本私立学校振興・共済事業団発行の『私立大学・短期大学等入学志願動向』学部系統別の動向を見ると、教育学は定員充足率を減らし、保育系統の志願者数が減少となっていることから全国的な保育系統の志願者数の減少は続くものと考え、令和7（2025）年度から入学定員を30名減員のうえ70名とし、定員充足率の適正化を図ることとしたい。

国際社会学部国際社会学科

国際社会学科の直近5カ年の入学定員充足率の平均は0.74であり、改善を要する状況である【添付データ_別紙2-3】。定員充足率においては、令和3（2021）年度まで定員を充足していたが、令和4（2022）年度より未充足が続いている【資料4】。

日本私立学校振興・共済事業団発行の『私立大学・短期大学等入学志願動向』学部系統別の動向を見ると、社会科学系の学部別志願者・入学者動向では社会学系統や政治経済系統の志願者数が減少している。また、本学国際コミュニケーション学科との差別化が明確になされていないことも志願者を減らしていることの一因と考え、令和7（2025）年度から入学定員を半減し60名とし、定員充足率の適正化を図ることとしたい。

国際社会学部国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科の直近5カ年の入学定員充足率0.77であり、改善を要する状況である【添付データ_別紙2-4】。定員充足率においては、令和2（2020）年度まで定員を充足していたが、令和3（2021）年度より未充足が続いている【資料4】。

日本私立学校振興・共済事業団発行の『私立大学・短期大学等入学志願動向』学部系統別の動向を見ると、社会科学系の学部別志願者・入学者動向では社会学系統や観光系統の志願者数が減少している。また、本学国際社会学科との差別化が明確になされていないことも志願者を減らしていることの一因と考え、令和7（2025）年度から入学定員を半減し60名とし、定員充足率の適正化を図ることとしたい。

(3) 学生確保の見通し

① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

a) 大学案内の配付

本学の学部学科の学びの特色、就職や留学、課外活動等の学生生活に関する情報や入試情報を掲載した大学案内を毎年5月に発行している。大学案内を通して本学へ興味を持ってもらい、オープンキャンパスやキャンパス見学等へ誘導し理解を深めてもらい、受験や入学へ繋ぐことを目標としている。

資料請求等により大学案内を配付した総数は、令和4（2022）年度入試では6,672名、令和5（2023）年度入試では8,472名と伸びている。一方で資料請求者を受験生に限って見ると、本学を受験する確率は、令和4（2022）年度入試では11.5%、令和5（2023）年度入試では4.9%、本学に入学する確率は、令和4（2022）年度入試では8.5%、令和5（2023）年度入試では3.6%

と減少している【添付データ_別紙3】。

b) オープンキャンパスの実施

本学の学部学科の学びの特色、就職や留学、課外活動等の学生生活に関する情報や入試情報を伝えるためにオープンキャンパスを実施している。本学教員による模擬授業、教職員による各種ガイダンス、在学生によるキャンパスツアーや個別相談等のプログラムを準備し、本学への理解を深めてもらい、受験や入学へ繋ぐことを目標としている。

令和4（2022）年度入試、令和5（2023）年度入試ではそれぞれ10回開催した。参加総数は令和4（2022）年度入試は965名、令和5（2023）年度入試は849名、うち本学を受験する確率は、令和4（2022）年度入試は40.9%、令和5（2023）年度入試は32.9%、本学に入学する確率は、令和4（2022）年度入試は35.8%、令和5（2023）年度入試は27.4%と減少している【添付データ_別紙3】。

c) 高校訪問等による高校との関係性の強化

高校訪問や高校で行う出張授業等は、本学の学部学科の学びの特色、就職や留学、課外活動等の学生生活に関する情報や入試情報を直接伝えることができ、高校との関係性を強化できる機会ととらえ、積極的に行っている。

高校訪問や出張授業等による高校への接触の機会は、令和4（2022）年度入試は649回、令和5（2023）年度入試は961回と増えている。

イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標

a) 大学案内の配付

大学案内の配付による取組は、(3)①アa)に記した通り受験率、入学率ともに減少している【添付データ_別紙3】。

これらの結果を踏まえ、大学案内だけではなくホームページやSNSによる情報発信も併せて強化し、受験者数と入学者数の確保に繋げたい。

b) オープンキャンパスの実施

オープンキャンパスの実施による取組は、(3)①アb)に記した通り受験率、入学率ともに減少している【添付データ_別紙3】。

これらの結果を踏まえ、当日のプログラムの他、開催日程や開催回数を検討し、オープンキャンパスへ誘導する事前告知等を強化し、受験者数と入学者数の確保に繋げたい。

c) 高校訪問等による高校との関係性の強化

高校訪問等による高校との接触の機会を増やすことができたが、今後は高校単位での出願状況やオープンキャンパス等への参加状況等も併せて各高校への接触方法を検討し、高校との相互理解を深め、関係性をより強化し、受験者数と入学者数の確保に繋げたい。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数

(3) ①ア及びイに記したように、受験者数と入学者数の確保へ結びつく取組は引き続き実施していくが、とりわけ今回の収容定員の変更は、学部学科の改組を伴わず、4学科ともに定員を削減することになるので、それがマイナスと受け取られないよう、少人数教育による学びの充実を受験生だけではなく高校へも伝え理解を得る必要がある。それによって定員の未充足を解消し、定員充足率の適正化を図ることとしたい。

② 競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性

競合校は、以下の観点に従い、本学との類似性が高い大学を選定している。

学校種：4年制女子大学を選定

定員規模：学生数が4000名以下の小規模大学を選定

学問分野：学校基本調査の学科系統分類表を参考に同じ学問分野の大学を選定

所在地：(2) ③に記した本学の主な学生募集地域である神奈川県と東京都の大学を選定

学力層：河合塾6月発表の2023年度入試難易予想一覧表より学力層の近い大学を選定

競合校：

人間科学部人間科学科

白百合女子大学人間総合学部発達心理学科、相模女子大学人間社会学部人間心理学科

人間科学部保育子ども学科

白百合女子大学人間総合学部初等教育学科、鎌倉女子大学児童学部児童学科

国際社会学部国際社会学科

清泉女子大学文学部地球市民学科、相模女子大学人間社会学部社会マネジメント学科

国際社会学部国際コミュニケーション学科

学習院女子大学国際文化交流学部国際コミュニケーション学科、

フェリス女学院大学国際交流学部国際交流学科

競合校として選定した大学は、学科との類似性だけではなく大学全体としても学部学科構成が類似し、取得できる資格も同じようなものが揃っている。また、女子大学における教育の特徴である少人数教育、就職支援の充実等、共学大学との差別化を図っている点も類似しているが、これらは女子大学の強みとして一定数の受験生からは評価をされている。ここに選定した大学はいずれも本学の併願校であり、今回の定員を変更する本学においても同様に志願者数を確保できると想定している。

イ 競合校の入学志願動向等

競合校の入試志願動向について、令和3（2021）年度入試～令和5（2023）年度入試の3年間の入学者と入学者充足率を調べた結果、全ての選定校の入学者が未充足となっている学科は国際社会学科のみだった【資料5】。

(2) ④で記したように国際社会学部の政治経済系統や観光系統や異文化コミュニケーション系統の志願者は、本学に限らず減少の傾向にある。しかしながら未充足ではあるが、減少幅が少ない競合校の状況や、コロナ禍の収束による観光ビジネス系の雇用回復により、国際社会学部を志願する受験生は今後増えるものと期待をしている。

人間科学科と保育子ども学科においては、入学定員充足率を充たしているか、ほぼ満たしている状態なので、志願する受験生を確保することができると期待をしている。

ウ 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）

国際社会学部国際社会学科における競合校について、全ての選定校の入学定員未充足となっているが、(3) ②イで記した理由と、今回の定員の変更は現在の入学定員を半減するものであることから、定員充足が可能と想定している。

エ 学生納付金等の金額設定の理由

学生納付金等の金額の設定については、競合校と比較しても大きな差はない【資料6】。

なお、令和7（2025）年度入試より金額を改正することが決定している。合計金額は現行のままだが、入学金を300,000円から200,000円に減額し、授業料を670,000円から695,000円とし、実際に入学した後の教育充実のために学生納付金を使うよう変更をしている。

⑤ 人材需要に関するアンケート調査等

本学では、(2) ①で説明をした通り、各学科において幅広い分野への需要へ対応できる人材を養成している。

人間科学部人間科学科

人間科学科は、令和2（2020）年3月卒業生の就職希望者に占める就職者数の割合は89.6%であったが、令和5（2023）年3月は95.7%と伸びている【資料7】。

令和5（2023）年3月卒業生の業種別就職先は、卸売・小売業、サービス業に次いで、ここ数年需要が増えている情報通信業が14.5%となっている。また、人間科学科の特徴として、心理カウンセラー等の医療・福祉業で就職する割合も10.9%となっている【資料8】。

中学校・高等学校教諭一種免許状や司書資格等、専門的な資格を取得して卒業する学生もいる【資料9】。

人間科学部保育子ども学科

保育子ども学科は、令和2（2020）年3月から令和5（2023）年3月の3年間、卒業生の就職希望者に占める就職者の割合は、ほぼ100%となっている【資料7】。

令和5（2023）年3月卒業生の業種別就職先は、教育（幼稚園など）が34.9%、医療・福祉（保育所など）が25.6%と、保育者としての就職が多くを占め、次いで公務員が14.0%となっている【資料8】。

多くの学生は、幼稚園教諭一種免許状と保育士資格を取得して卒業している【資料9】

国際社会学部国際社会学科

国際社会学科は、令和2（2020）年3月卒業生の就職希望者に占める就職者数の割合は94.9%であったが、令和5（2023）年3月は99.0%と伸びている【資料7】。

令和5（2023）年3月卒業生の業種別就職先は、サービス業、卸売・小売業に次いで、ここ数年需要が増えている情報通信業が17.9%となっている。また、国際社会学科の特徴として、放送・映像・出版・広告業が5.9%と他学科に比べて高い割合となっている。【資料8】。

中学校・高等学校教諭一種免許状や司書資格等、専門的な資格を取得して卒業する学生もいる【資料9】。

国際社会学部国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科は、令和2（2020）年3月卒業生の就職希望者に占める就職者数の割合は95.4%であったが、令和5（2023）年3月は99.0%と伸びている【資料7】。

令和5（2023）年3月卒業生の業種別就職先は、サービス業次いで、ここ数年需要が増えている情報通信業が14.4%となっている。また、国際コミュニケーション学科の特徴として、航空会社等を含む運輸・郵便業が5.9%と他学科に比べて高い割合となっている。【資料8】。

中学校・高等学校教諭一種免許状や日本語教育課程等、専門的な資格を取得して卒業する学生もいる【資料9】。

（4）収容定員を変更する組織の定員設定の理由

（2）①～③に記した地域における18歳人口や学生募集地域の動向を見ると、南関東における18歳女子は横這いの状況が続き、全国と比較しても緩やかな減少幅となっている。また、コロナ禍も収束し、本学が養成しようとする人材の需要も期待できる。

一方で、（2）④に記したように本学の定員充足率は、全ての学科で未充足となっており非常に厳しい状況である。そのため、今回収容定員を削減する変更を行うことにより、定員の未充足を解消し、定員充足率の適正化を図ることとしたい。